WS016SH　取扱説明書　活用編

Ultra Mobile

WILLCOM **D4**

この説明書には、冊子「取扱説明書 基本編」の補足情報や、
トラブル時の解決方法などが記載されています。
冊子「取扱説明書 基本編」とあわせてお読みください。

WILLCOM

SHARP®

もくじ

映像と音楽

他のパソコンとの連携

バックアップする

故障かな？と思ったら

さくいん　106

この説明書の読み方

■ 使用している記号について

ご注意 !	この製品や周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
ご参考	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
☞	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

■ 表記ルールについて

『**基本編**』（冊子）	冊子の説明書を示します。（左は「取扱説明書 基本編」の例です。）
【 ⏎ 】	ボタンやキーボードのキーを押す操作では、ボタンやキーを【 】で囲んでいます。また、あるキーを押しながら他のキーを押すときは、「＋」でつないで表記しています。 例）【Fn】＋【J】（▲☼）
［ ］	画面に表示されるボタンなどは、［ ］で囲んで表記しています。 例）［OK］をクリックします。
「 」	メニュー項目や、画面やアイコンの名称などは、「 」で囲んで表記しています。 例）「コントロールパネル」をクリックします。

■ 画面例について

本書に記載している画面は一例です。画面の背景、画面デザイン、表示される項目名、アイコンなどの種類や位置などが実際の画面と異なる場合があります。また、操作状況やこの製品の状態によって表示が異なる項目などは「XXXXX」で表しています。

画面の背景

本書に記載している画面の背景には、Windows の壁紙を使用しています。
画面の背景は変更することができます。変更方法については『**基本編**』（冊子）の「**8章 設定**」－「**使用環境を設定する**」－「**壁紙を設定する**」を参照してください。

■この説明書では、タッチパッドを使用した説明をしています

クリックなどの操作は、スタイラスペン（付属）を使用することも可能です。

■お問い合わせ先などについて

この説明書に記載しているお問い合わせ先の電話番号や時間帯、各種サービスの電話番号などは、2008 年 6 月現在のものです。

■ 商標、登録商標について

・Microsoft、Windows、Windows Vista、Aero、ReadyBoost は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・ShadowProtect Restore は、米国およびその他の国における StorageCraft Technology Corporation の商標です。
・MBRINST は、日本およびその他の国における株式会社ネットジャパンの商標です。
・TRENDMICRO、ウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
・microSD ロゴは商標です。
・Bluetooth は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

・StationMobile は、株式会社ピクセラの商標です。
・その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

電　話

電話機能を使う

電話機能を使うときは、W-SIM ユーザーとして Windows にログオンしてください。
非 W-SIM ユーザーは電話機能を使用できません。
また、付属のヘッドセットを接続しないと電話機能を使用できません。

かかってきた番号／かけた番号を「Windows アドレス帳」に登録する

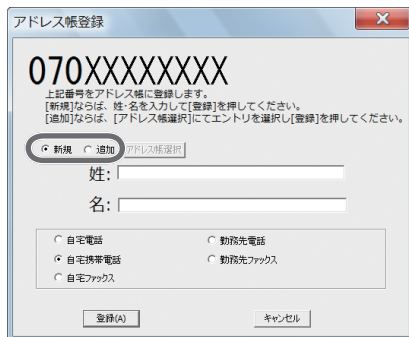
かかってきた電話番号やかけた電話番号は、着信履歴や発信履歴として新しいものからそれぞれ 20 件ずつ残っています。この着信履歴や発信履歴の電話番号を「Windows アドレス帳」に登録できます。

1 **電話のダイヤル画面で、［着信履歴］または［発信履歴］をクリックする。**
履歴画面が表示されます。

ご参考

- ダイヤル画面でキーボードの以下のキーを押しても、表示できます。
【←】キー：着信履歴
【→】キー：発信履歴
- 「D4 Status Monitor」で、1 件以上の不在着信が表示されているときに 不在:X件 をクリックすると、「着信履歴」画面が表示されます。

2 **着信履歴画面または発信履歴画面で、登録する電話番号をクリックし、［アドレス帳登録］をクリックする。**
「アドレス帳登録」画面が表示されます。

3 **「新規」または「追加」を選択する。**

「追加」を選択した場合：
① ［アドレス帳選択］をクリックし、保存先のアドレス帳を選択して［開く］をクリックする。
② ［登録］をクリックする。
③ 確認画面が表示されたときは、［はい］または［いいえ］をクリックする。
手順 **5** に進んでください。

4 **姓、名、番号種別などの情報を入力し、［登録］をクリックする。**
登録した連絡先のプロパティ画面が表示されます。

5 **タブをクリックして各項目を入力し、［OK］をクリックする。**

ご参考

- 上記の手順で「Windows アドレス帳」に新規登録した場合は、ふりがなは自動的には入力されません。
［ふりがな］をクリックして、姓・名のふりがなを入力してください。

通話中にトーン信号（プッシュ信号）を送る

銀行の残高照会などのプッシュホンサービスを利用するときなどに、ダイヤルキーを使ってトーン信号（プッシュ信号）を送ることができます。

1 **相手先に電話をかける。**

2 **「通話中」画面で、[キー表示] をクリックする。**

3 **番号を入力する。**

数字が画面上に表示され同時にその数字のトーン信号(プッシュ信号)が送られます。

発信中にポーズを使う

電話番号をあらかじめ入力しておくとき、電話番号に「P」（ポーズ）を挿入しておくと、電話番号を何回かに分けてダイヤルすることができます。銀行の残高確認サービスに発信するときなどに、あらかじめ「P」を挿入した番号を入力しておき、電話をかけた後、音声ガイダンスに合わせてサービス番号を順次発信することができます。
また「P」（ポーズ）を挿入した状態の電話番号を「Windows アドレス帳」に登録することもできます。

例）03XXXXXXXX P XX P XXXX
番号案内　サービス番号 ①　サービス番号 ②

1 **電話のダイヤル画面で電話番号を入力、次に［ポーズ］をクリックし、続いてサービス番号などを入力する。**
［ポーズ］をクリックすると、画面上には「P」が表示されます。

2 **［通話］をクリックする。**
「P」の前の番号までが発信され、電話がかかります。

3 **相手先とつながった後、［ポーズ］をクリックする。**
「P」より右の番号がトーン信号で発信されます。

ご参考

- ポーズ（「P」）は複数入力できます。複数のポーズ（「P」）が入っているときは、まず最初のポーズまでを発信して止まります。[ポーズ]をクリックすると次のポーズまでを発信し２つ目のポーズで止まります。再度、［ポーズ］をクリックすると次のポーズまでを発信します。以降同様に動作します。

国際電話をかける

ウィルコムの国際電話サービスを利用することにより、国際電話をかけられます（事前のお申し込みは不要です）。

この製品から海外へかける

例）アメリカの「212-XXX-XXXX」へかける場合

1 **0 1 0 と国番号に続いて相手の電話番号を入力し、［通話］をクリックする。**

ご参考

- 通話料については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
- 申込手数料、月額料金は不要です。

電話の各種設定をする

「電話設定」で、受話音量やマナーモードなど電話に関するさまざまな設定ができます。「電話設定」の設定を変更するときは、あらかじめこの製品にW-SIMを装着し、W-SIMユーザーでログオンしてください。

「電話設定」を起動する

1 「D4 Status Monitor」の［設定］をクリックする。

「電話設定」が表示されます。
「D4 Status Monitor」が見つからないときは、 をクリックし、「すべてのプログラム」－「D4 アプリケーション」－「電話設定」の順にクリックします。

2 タブをクリックして各項目を設定し、[OK] をクリックする。

「電話設定」のメニュー

「基本」タブ

項　目		設定値	概　要
自番号表示		―	この製品の電話番号とメールアドレスが確認できます。
発着信／通話	発信者番号通知	ON ／ OFF	通常、電話やライトメールを送信するときに自分の電話番号を相手に通知する／通知しないを設定できます。(☞ 12 ページ)
	圏外警告音	ON ／ OFF	電波の状態が圏外になったときに警告音を鳴らす／鳴らさないを設定できます。(☞ 12ページ)
データ通信		ベストエフォート方式／ギャランティ方式	W-SIM(PHS) 通信で使用する通信方式を設定できます。
受話音量 (☞ 13 ページ)		1 ～ 5	通話中の相手の声の大きさを調整できます。

「呼出」タブ

項　目		設定値	概　要
マナーモード（☞ 17 ページ）		有効／無効	電話の着信音やアラーム、音楽など、スピーカーから出力する音を鳴らす／鳴らさないを設定できます。
着信音（☞ 13、14 ページ）	電話	音量（一定／消音／ STEP）、メロディ	それぞれの着信時の音量、鳴らす音楽、鳴らし方が設定できます。
	ライトメール		
	メール		
照明（☞ 16 ページ）	電話着信	ON ／ OFF	電話／ライトメール／メールの着信時に画面を点灯する／しないを設定できます。
	ライトメール着信		
	メールの着信		
	電波状態	ON ／ OFF	電波状態に応じて Y（電波状態）ランプを緑（強）／オレンジ（中）／赤（弱）に点灯する／点灯しないを設定できます。
	電話／メール／ライトメールの着信		電話着信時やメール／ライトメール受信時に Y（電波状態）ランプを青色に点灯するように設定できます。
	不在着信／未読メール・ライトメールあり		不在着信または未読メール、未読ライトメールがあるときに、Y（電波状態）ランプを青色に点滅するように設定できます。
呼出時間	ライトメール着信	秒数、再生回数	着信音の鳴動時間、またはメロディの再生回数を設定できます。(☞ 16 ページ)
	メール着信		

「セキュリティ」タブ

「セキュリティ」タブの項目を変更するには、W-SIM の暗証番号を入力する必要があります。ご購入時、暗証番号は「0000」（ゼロが 4 つ）に設定されています。

項　目		設定値	概　要
通話通信制限		制限する／制限しない	電話発信、ライトメール送信、インターネット接続を制限（ロック）できます。
W-SIM ロック		4 ～ 16 桁の数字	PIN コードを入力しないと、通話、ライトメールの送受信、インターネット接続できないよう制限（ロック）できます。
リモートロック	許可パスワード	4 ～ 8 桁の数字	遠隔操作でこの製品にロックをかけることができます。(☞『**基本編**』(冊子) の「**3 章 電話**」－「**セキュリティなど電話の設定をする**」－「**リモートロックを利用する**」)
	サブアドレス起動設定	ON ／ OFF	
	ライトメール起動設定		
	microSD カードの読み書き	禁止する／禁止しない	microSD カードへの読み書きを禁止する／禁止しないを設定できます。
着信拒否（☞17 ページ）	ユーザ非通知拒否	ON ／ OFF	特定の番号などからの着信を拒否できます。
	通知不可能拒否		
	公衆電話発信拒否		
	指定番号拒否		
ブートセキュリティ		ON ／ OFF	特定の W-SIM が挿入されていないと、この製品にロックがかかるように設定できます。
W-SIM の暗証番号変更		4 桁の数字	W-SIM の暗証番号を変更できます。

「電話帳転送」タブ

「W-SIM 電話帳転送」を起動し、Windows アドレス帳と W-SIM の電話帳の間でデータのやり取りをします。詳しくは「**電話帳のデータを読み込む／書き込む**」(☞19 ページ)を参照してください。

「接続」タブ

項　目	設定値	概　要
W-SIM(PHS)	ON ／ OFF	PHS 機能の有効／無効を設定できます。
自動受信	ON ／ OFF	メールの自動受信の有効／無効を設定できます。

「W-SIM 情報」タブ

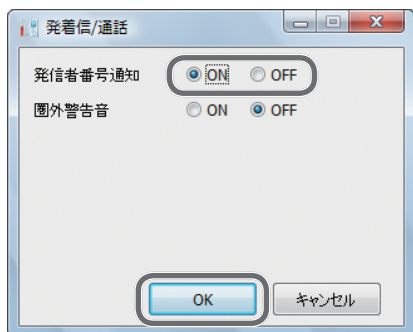
項　目	設定値	概　要
型番	―	この製品に装着されている W-SIM の情報を表示します。
ファームウェア		

発信者番号通知をする／しないを設定する

通話相手に、自分の電話番号を通知する／通知しないを設定します。

1 「基本」タブをクリックし、［設定］をクリックする。

「発着信 / 通話」画面が表示されます。

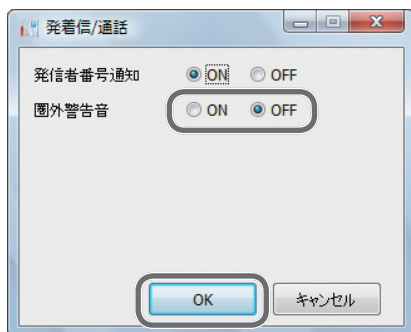
2 「発信者番号通知」の「ON」、「OFF」をクリックし、［OK］をクリックする。

ON　：発信者番号を通知します。
OFF　：発信者番号を通知しません（非通知）。

圏外警告音を鳴らす／鳴らさないを設定する

通話中に圏外になったときに、警告音を鳴らす／鳴らさないを設定します。

1 「基本」タブをクリックし、［設定］をクリックする。

「発着信 / 通話」画面が表示されます。

2 「圏外警告音」の「ON」、「OFF」をクリックし、［OK］をクリックする。

ON　：圏外警告音を鳴らします。
OFF　：圏外警告音を鳴らしません。

相手の声の大きさ（受話音量）を調整する

1 **「基本」タブをクリックし、[音量調整]をクリックする。**

「受話音量」画面が表示されます。

2 **調整つまみをドラッグして音量を調整する。**

3 **[OK] をクリックする。**

通話中、一時的に受話音量を調整するときは

- 「通話中」画面の［キー表示］をクリックして表示された画面（キーパッド）で、🔊▲ または 🔊▼ を押すか、キーボードの【↑】キーまたは【↓】キーを押します。
  🔊▲、【↑】キー：音が大きくなります。
  🔊▼、【↓】キー：音が小さくなります。
- 相手に聞こえる自分の声の大きさは変えられません。

着信音の音量を調整する

電話／ライトメール／メールを着信したとき、着信音の音量を変えるには、以下のような方法があります。

1 **「呼出」タブをクリックし、[着信音設定] をクリックする。**

「着信音量」画面が表示されます。

2 **▲、▼ をクリックし、電話／ライトメール／メールの音量を調整する。**

3 **画面右の▼をクリックし、音の鳴り方を設定する。**

一定	：	一定の音量で鳴り続けます。
消音	：	着信しても音が鳴りません。
STEP	：	時間の経過とともに音量が大きくなります。

4 **[OK] をクリックする。**

着信中、一時的に着信音量を調整するには

- 着信中に、【Fn】キーを押しながら、【F】（▲🔊）キーまたは【D】（▼🔊）キーを押します。

【Fn】+【F】（▲🔊）:着信音が大きくなります。
【Fn】+【D】（▼🔊）:着信音が小さくなります。

着信音のメロディを変える

着信音のメロディを変更できます。また、この製品に保存している音楽ファイル（WAV ファイル、MP3 ファイル、WMA ファイル）を着信音にできます。

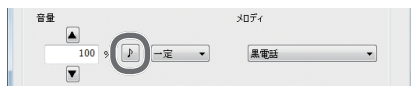
1 「呼出」タブをクリックし、[着信音設定] をクリックする。

「着信音量」画面が表示されます。

2 各項目の「メロディ」欄の▼をクリックし、表示された項目から着信音を選択する。

「《ファイル参照》」を選択すると、この製品または microSD カードに保存されている音楽ファイル（WAV ファイル、MP3 ファイル、WMA ファイル）を着信音に設定できます。（☞ 次ページ）

ファイルを再生するときは

- ♪ をクリックします。

再生を中止するときは、■ をクリックします。

- マナーモードの設定が有効のときは再生できません。

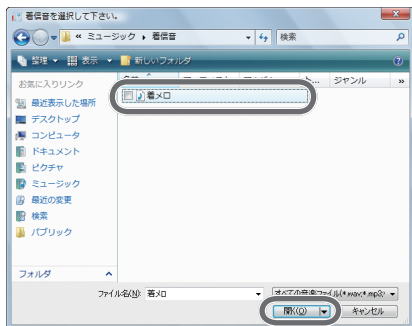
3 [OK] をクリックする。

音楽ファイルを選択する

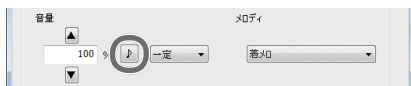
前ページの手順 **2** で、「《ファイル参照》」を選択すると、この製品または microSD カードに保存されている音楽ファイル（WAV ファイル、MP3 ファイル、WMA ファイル）を着信音として選択できます。

1 「着信音のメロディを変える」の手順 2（☞ 前ページ）の画面で「《ファイル参照》」を選択する。

「着信音を選択して下さい。」画面が表示されます。

2 着信音にしたいファイルを選び、[開く] をクリックする。

ご参考

- 容量の大きな（約 10MB 以上）音楽ファイルは着信メロディには設定できません。

3 ♪ をクリックし、ファイルが正しく再生されるか確認する。

再生を中止するときは ■ をクリックします。

ご参考

- マナーモードの設定が有効のときは再生できません。
- 著作権保護されている WMA ファイルが着信メロディに設定されていると、着信機能が働きません。必ず ♪ をクリックして再生できることが確認できたファイルを設定してください。

4 ［OK］をクリックする。

ご参考

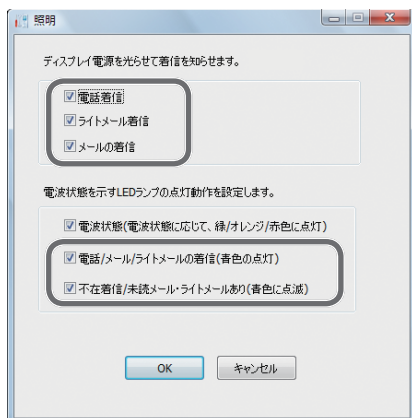
- 指定した音楽ファイルが見つからないときは、初期設定のメロディになります。

電話着信／メール受信時、照明やランプを点灯する

電話／ライトメール／メールの着信時に画面を点灯したり、電話着信時やメール／ライトメールを受信時、および不在着信／未読メール／未読ライトメールがある場合に、Y（電波状態）ランプを青色に点灯または点滅させたりできます。

青点灯： 電話／メール／ライトメールの着信・受信を知らせます。
青点滅： 不在着信／未読メール／未読ライトメールがあることを知らせます。

1 **「呼出」タブをクリックし、[照明設定] をクリックする。**
「照明」画面が表示されます。

2 **点灯させたい項目をクリックしてチェックマークを付ける。**

ご参考

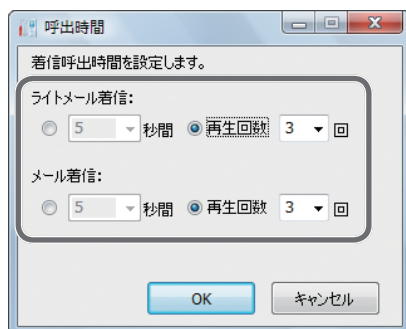
- 「電波状態」では、受信電波の状態をランプで表示する／表示しないを設定できます。

3 **[OK] をクリックする。**

メール受信時の呼び出し時間または再生回数を設定する

メールやライトメール受信時に、受信したことを知らせる着信音の呼び出し時間または再生回数を設定します。
設定した時間を超えると、着信音は停止します。

1 **「呼出」タブをクリックし、[呼出時間設定] をクリックする。**
「呼出時間」画面が表示されます。

2 **ライトメール／メール受信時の呼出時間またはメロディの再生回数を設定する。**

秒数　：呼び出し時間を設定します。
再生回数：「着信音量」画面で設定した着信メロディを何回再生するか設定します。

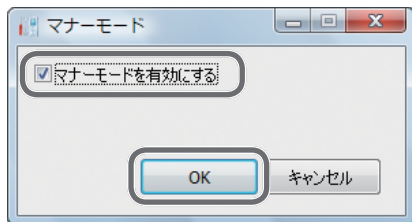
3 **[OK] をクリックする。**

マナーモードを設定する

電話やメールの着信音やアラーム、音楽など、スピーカーから出力する音を鳴らさないマナーモードにできます。

1 **「呼出」タブをクリックし、[マナー設定] をクリックする。**

「マナーモード」画面が表示されます。

2 **「マナーモードを有効にする」にチェックマークを付け、[OK] をクリックする。**

ご参考

- 「D4 Status Monitor」でも、マナーモードを設定できます。(☞『**基本編**』(冊子)の「**1章　基本操作**」－「**D4 Status Monitor について**」)
- マナーモードに設定されているときでも、ヘッドセットからは音楽や着信音、通話音声が聞こえます。

着信制限をする

発信者番号が表示されない相手からの着信や、特定の番号からの着信を拒否できます。

着信拒否に設定した相手から着信したときは、着信音やランプは反応せず、着信履歴も残りません。

拒否した相手へは、話中の音が流れます。

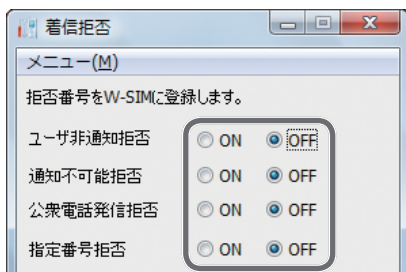
1 **「セキュリティ」タブをクリックし、[着信拒否設定] をクリックする。**

2 **表示された画面で W-SIM の暗証番号を入力する。**

ご購入時、暗証番号は「0000」(半角数字 0 (ゼロ)が 4 つ)です。

入力した暗証番号が正しいと、「着信拒否」画面が表示されます。

3 **各項目の「ON」、「OFF」をクリックし、[OK] をクリックする。**

それぞれの項目を「ON」にすると、着信制限がかかります。

ユーザ非通知拒否　：電話番号を非通知にしている電話。

通知不可能拒否　：相手が通知できないエリアや電話機からの電話。

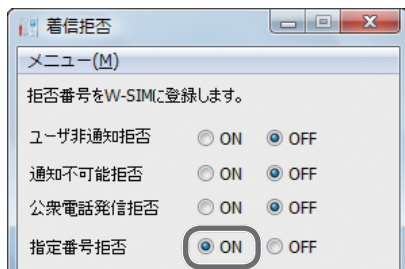
公衆電話発信拒否　：公衆電話からの電話。

指定番号拒否　：登録した電話番号からの電話。(☞ 次ページ)

拒否番号を登録する

特定の電話番号をリストに登録し、相手からの着信を拒否することができます。
登録できる電話番号は最大 10 件です。

1 「着信制限をする」（☞ 前ページ）の手順 1 〜 2 の操作をする。

2 「指定番号拒否」の「ON」をクリックする。

3 いずれかの方法で着信拒否したい電話番号を入力する。

- 直接、入力欄に電話番号を入力する。
- 着信／発信履歴画面などで電話番号をコピーしているときは、番号入力欄で右クリックし、「貼り付け」をクリックする。

4 番号入力欄の右側にある［登録］をクリックする。

手順 3 で入力した電話番号が着信拒否電話番号として登録されます。

5 ［OK］をクリックする。

着信拒否を解除する

■一時的にすべての番号の着信拒否を解除する

1 「着信制限をする」（☞ 前ページ）の手順 1 〜 2 の操作をする。

2 「指定番号拒否」の「OFF」をクリックし、［OK］をクリックする。

■設定している着信拒否の電話番号を削除し、着信拒否を解除する

1 「着信制限をする」（☞ 前ページ）の手順 1 〜 2 の操作をする。

2 着信拒否を解除する電話番号をクリックし、電話番号の文字を削除する。

文字を削除すると[登録]が[解除]に変わります。

3 番号入力欄の右側にある［解除］をクリックする。

確認画面が表示されます。

4 ［OK］をクリックする。

着信拒否が解除されます。

電話帳のデータを読み込む／書き込む

「W-SIM 電話帳転送」を使って、この製品の「Windows アドレス帳」と W-SIM に保存されている電話帳との間で、電話帳データをやりとりすることができます。
他の機種で使っている電話帳のデータを、この製品でも使いたいときなどに便利です。

W-SIM にある電話帳のデータを Windows アドレス帳に読み込む

W-SIM に保存されている電話帳のデータを「Windows アドレス帳」に追加します。あらかじめ読み込みたい電話帳のデータを W-SIM に保存しておいてください。

読み込み可能な項目

W-SIM の種別		「Windows アドレス帳」の項目
読み仮名(半角カナ)	→	ふりがな（姓、名）※1
名前	→	姓※1、名、表示名
郵便番号	→	「自宅」の郵便番号
住所	→	「自宅」の市区町村
生年月日	→	誕生日
メモ	→	メモ
URL	→	「自宅」の Web サイト
電話番号※2 番号種別	→	「自宅」の電話番号 「自宅」のファックス 「自宅」の携帯電話 「勤務先」の電話番号
メールアドレス※2	→	電子メール

※1 姓と名の間にスペースがある場合は姓と名に、スペースがない場合はすべて姓に読み込まれます。
※2 最大 3 項目まで読み込めます。

番号種別について

- 番号種別によって、登録先が以下のように振り分けられます。

W-SIM の種別		「Windows アドレス帳」の項目
① PHS	→	「自宅」の携帯電話
② 携帯	→	「自宅」の携帯電話
③ 自宅	→	「自宅」の電話番号
④ 会社	→	「勤務先」の電話番号
⑤ FAX	→	「自宅」のファックス
⑥ 種別なし	→	「自宅」の電話番号
⑦ 種別なし （先頭の3桁が「070」、「080」、「090」のいずれかのとき）	→	「自宅」の携帯電話

- ①〜⑦を読み込んだとき、「Windows アドレス帳」の各項目に既に番号が設定されている場合は以下の項目に移行して設定します。
（優先順位は上記の①、②…の順になります。）
①、②、⑦：
「自宅」の携帯電話→「自宅」の電話番号→「自宅」のファックスの順に設定します。
③、⑥：
「自宅」の電話番号→「自宅」のファックスの順に設定します。
④：
「勤務先」の電話番号→「勤務先」のファックス→「勤務先」のポケットベルの順に設定します。
⑤：
「自宅」のファックス以外のどの項目にも設定しません。

例 1：

電話番号	番号種別	「Windows アドレス帳」の項目
070XXXX…	種別なし	「自宅」の携帯電話
080XXXX…	種別なし	「自宅」の電話番号
03XXXXX…	種別なし	「自宅」のファックス

例 2：

電話番号	番号種別	「Windows アドレス帳」の項目
電話番号 1	携帯	「自宅」の携帯電話
電話番号 2	会社	「勤務先」の電話番号
電話番号 3	PHS	「自宅」の電話番号

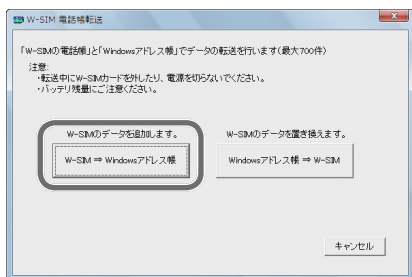
1 電話帳のデータが入った W-SIM をこの製品に取り付ける（☞『はじめにお読みください』（冊子））。

2 「D4 Status Monitor」の［設定］をクリックする。

「電話設定」画面が表示されます。

3 「電話帳転送」タブをクリックし、［転送ツールを起動］をクリックする。

「W-SIM 電話帳転送」画面が表示されます。

4 ［W-SIM ⇒ Windows アドレス帳］をクリックする。

確認画面が表示されます。

5 ［OK］をクリックする。

W-SIM の電話帳のデータが、この製品の「Windows アドレス帳」に読み込まれます。

読み込みが終わると確認画面が表示されます。

6 ［OK］をクリックする。

7 画面右上の ✕ をクリックして確認画面を順に閉じる。

「Windows アドレス帳」のデータを W-SIM に書き込む

この製品の「Windows アドレス帳」に保存しているデータを W-SIM に書き込みます。W-SIM の電話帳に書き込めるのは、最大 700 件です。

ご注意

- W-SIM に電話帳データを書き込むと、W-SIM の電話帳は上書き保存されるので、以前 W-SIM に保存されていた電話帳のデータは消去されます。

ご参考

- ふりがなが入力されていないデータは転送されません。
- ふりがなが同じ複数のデータがある場合は最後に更新された 1 件のみが転送されます。

書き込み可能な項目

「Windows アドレス帳」の項目		W-SIM の種別
ふりがな（姓、名）	→	読み仮名(半角カナ)
姓、名	→	名前
「自宅」の郵便番号	→	郵便番号
「自宅」の都道府県 「自宅」の市区町村 「自宅」の番地	→	住所
誕生日	→	生年月日
メモ	→	メモ
「自宅」の Web サイト	→	URL
「自宅」の電話番号 「自宅」のファックス 「自宅」の携帯電話 「勤務先」の電話番号	→	電話番号※1 番号種別
電子メール	→	メールアドレス※2

※1 「Windows アドレス帳」で、電話番号（自宅、勤務先）、「自宅」のファックス、「自宅」の携帯電話のすべてに番号を入力していても、W-SIM に書き込める項目は最大 3 項目です。

※2 最大 3 項目まで書き込めます。

番号種別について

- 次の項目は、電話番号によって番号種別を設定します。

「Windows アドレス帳」の項目	W-SIM の種別
・「自宅」の携帯電話	→PHS（先頭の3桁が「070」のとき） →携帯（先頭の3桁が「080」または「090」のとき） →自宅
・「自宅」のファックス	→PHS（先頭の3桁が「070」のとき） →携帯（先頭の3桁が「080」または「090」のとき） →FAX
・「自宅」の携帯電話	→PHS（先頭の3桁が「070」のとき） →携帯
・「勤務先」の電話番号	→会社

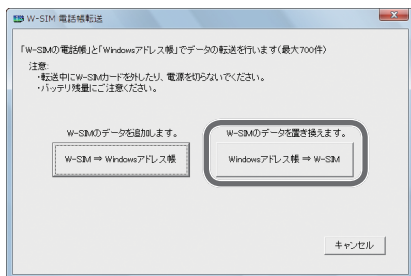
1 **W-SIM をこの製品に取り付ける（☞『はじめにお読みください』（冊子））。**

2 **「D4 Status Monitor」の［設定］をクリックする。**

「電話設定」画面が表示されます。

3 **「電話帳転送」タブをクリックし、［転送ツールを起動］をクリックする。**

「W-SIM 電話帳転送」画面が表示されます。

4 **［Windows アドレス帳 ⇒ W-SIM］をクリックする。**

確認画面が表示されます。

5 **［OK］をクリックする。**

W-SIM 内に保存されていたデータは消え、「Windows アドレス帳」のデータが上書き保存されます。

書き込みが終わると確認画面が表示されます。

6 **［OK］をクリックする。**

7 **画面右上の ［×］ をクリックして画面を順に閉じる。**

メール

Windows メール

PHS 機能を使用してメールを使うときは、W-SIM ユーザーとして Windows にログオンしてください。
非 W-SIM ユーザーは、一部の通信機能を使用できません。

アカウントを修正／削除する

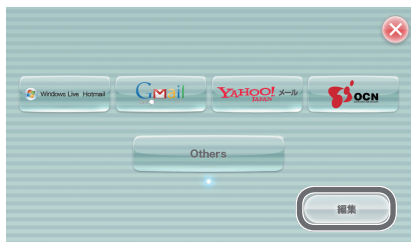
ご参考

- アカウントの設定方法について詳しくは、『**基本編**』（冊子）の「**4 章 メール**」－「**Windows メール**」－「**送受信するためのアカウントを追加する**」を参照してください。

「D4 メールランチャー」で設定したアカウントを修正する

「D4 メールランチャー」で設定したアカウントを修正します。

1 **デスクトップにある「D4 メールランチャー」をダブルクリックする。**
デスクトップに、「D4 メールランチャー」がないときは、（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「D4 アプリケーション」－「D4 メールランチャー」の順にクリックします。

2 **［編集］をクリックする。**

3 **変更したい設定のボタンをクリックする。**

4 **画面の指示に従って、設定内容を修正する。**

「D4 メールランチャー」で設定したアカウントを削除する

1 **「「D4 メールランチャー」で設定したアカウントを修正する」（☞ 左記）の手順 1 ～ 3 の操作をする。**

2 **「アカウントを削除する」をクリックする。**

3 **［はい］をクリックする。**

4 **［OK］をクリックする。**

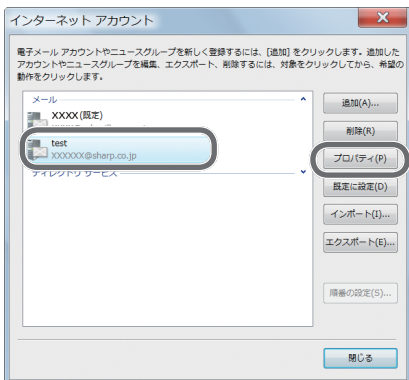
「Windows メール」で設定したアカウントを修正する

すでに加入しているプロバイダーのアカウントを修正します。

1 「Windows メール」を起動する。

2 メニューバーの「ツール」－「アカウント」をクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

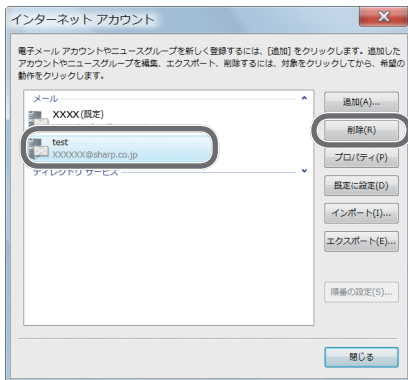
3 変更したい設定をクリックし、[プロパティ]をクリックする。

4 必要に応じてタブを切り替え、設定内容を修正する。

5 [OK]をクリックする。

6 [閉じる]をクリックする。

「Windows メール」で設定したアカウントを削除する

1 「「Windows メール」で設定したアカウントを修正する」(☞左記)の手順１～２の操作をする。

2 削除したい設定をクリックし、[削除]をクリックする。

3 [OK]をクリックする。

4 [閉じる]をクリックする。

受信時に迷惑メールを自動的に振り分ける

ダイレクトメールなど、特定のメールアドレスから何度も届くメールを迷惑メールに指定することができます。迷惑メールに指定されたアドレスからのメールは、受信した時点で「迷惑メール」フォルダに自動的に振り分けられます。

1 **「Windows メール」を起動後、「受信トレイ」から、受信した迷惑メールを右クリックし、「迷惑メール」－「差出人を [受信拒否リスト] に追加」をクリックする。**

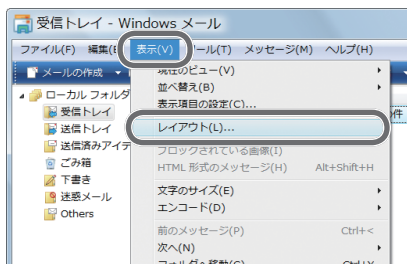
指定したメールは「迷惑メール」フォルダに移動し、これ以降同じ差出人からのメールは自動的に「迷惑メール」フォルダに振り分けられます。

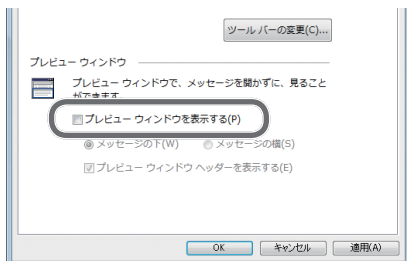
ご参考

- 「迷惑メール」－「差出人のドメインを [受信拒否リスト] に追加」をクリックすると、迷惑メールの差出人と同じドメイン（メールアドレスの@より右の部分）のメールは、すべて迷惑メールフォルダに分類されます。
- 「Windows メール」のメニューバーの「ツール」をクリックし、「迷惑メールのオプション」をクリックすると、迷惑メールの処理方法について、詳細な設定ができます。また、特定のメールアドレスをあらかじめ拒否リストに登録しておいたり、拒否リストに登録した差出人やドメインを解除したりするときも「迷惑メールのオプション」で設定します。
- 特定の相手からのメールを、受信しないように設定できる（または会員が自分で設定する）プロバイダーもあります。詳しくは、プロバイダーの説明書を参照してください。

メールのプレビュー表示をやめる

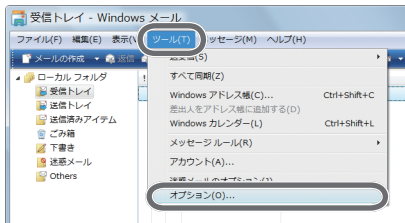
「Windows メール」では、選択したメールの内容を表示するプレビューウィンドウ機能があります。コンピュータウイルスの中には、この機能を悪用して、届いたメールをプレビューウインドウに表示するだけで感染してしまうものもあるため、プレビューウィンドウを非表示にすることをお勧めします。

1 **「Windows メール」を起動後、メニューバーの「表示」をクリックし、「レイアウト」をクリックする。**

「ウィンドウのレイアウトのプロパティ」画面が表示されます。

2 **「プレビューウィンドウ」欄の「プレビューウィンドウを表示する」をクリックしてチェックマークを外す。**

3 **［OK］をクリックする。**

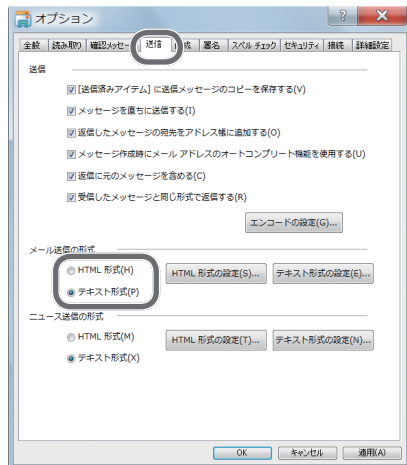
メールの送信形式を変更する

「Windows メール」の送信形式には「HTML 形式」と「テキスト形式」の二種類があります。
HTML 形式とは、ホームページの記述言語 HTML を利用した形式です。文字のサイズや色を変えたり、画像を挿入したりして、カラフルで楽しいメールが作れます。ただし、受け取る側のメールソフトが HTML 形式に対応していないときは、意味不明の記号やアルファベットが並び、読みにくいメールになります。
また、装飾付きのメールに対応した携帯電話でも正しく表示されない場合があります。
テキスト形式のメールでは、文字のサイズや書体を変えることはできませんが、どんなメールソフトでも読めるという安心感があります。
必要に応じてメールの送信形式を変更してください。

1 **「Windows メール」を起動し、メニューバーの「ツール」をクリックし、「オプション」をクリックする。**

「オプション」画面が表示されます。

2 **「送信」タブをクリックし、「メール送信の形式」欄の「HTML 形式」または「テキスト形式」をクリックして選択する。**

3 **[OK] をクリックする。**

ご参考

- 「オンラインサインアップ」を使って設定すると、メール形式は「テキスト形式」に変更されます。

「Microsoft Outlook Express」のアドレス帳のデータをこの製品でも使う

「Microsoft Outlook Express」で使用していたアドレス帳データをこの製品に読み込んで使用することができます。アドレス帳のデータは以下の順で移行します。

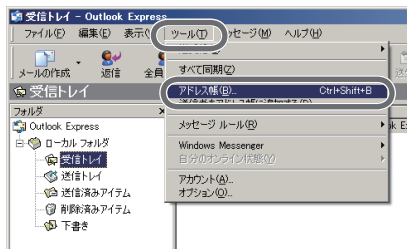
Step1	コピー元のパソコンで「Microsoft Outlook Express」のアドレス帳データをエクスポートする

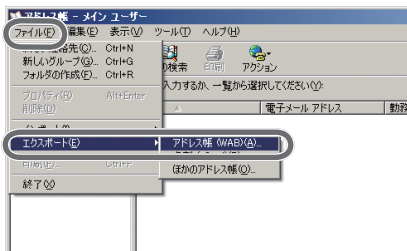
⇩

Step2	この製品に、エクスポートしたアドレス帳データをインポートする

Step1
コピー元のパソコンで「Microsoft Outlook Express」のアドレス帳データをエクスポートする

1 **コピー元のパソコンの「Microsoft Outlook Express」を起動する。**

2 **メニューバーの「ツール」をクリックし、「アドレス帳」をクリックする。**

アドレス帳が表示されます。

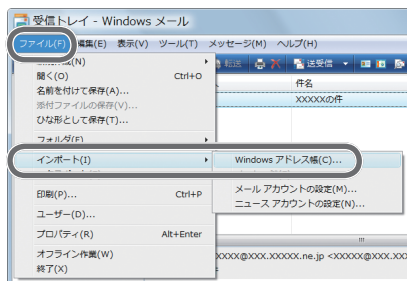
3 **メニューバーの「ファイル」をクリックし、「エクスポート」－「アドレス帳（WAB)」をクリックする。**

4 **データの保存場所を指定し、ファイル名を付けて保存する。**

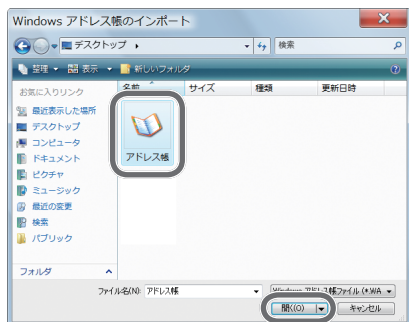
microSD カードなどのメディアを利用するときは、そのメディアを保存場所に指定します。

Step2
エクスポートしたアドレス帳データをこの製品にインポートする

1 **Step1 で microSD カードなどのメディアにデータを保存した場合は、データが保存されているメディアをこの製品にセットする。**

2 **「Windows メール」を起動する。**

3 **メニューバーの「ファイル」をクリックし、「インポート」－「Windows アドレス帳」をクリックする。**

「Windows アドレス帳にインポート」画面が表示されます。

4 取り込んだアドレス帳データをクリックし、［開く］をクリックする。

インポートが完了すると、「アドレス帳は、以前の場所および形式から、Windows アドレス帳フォルダにインポートされました。」と表示されます。

ご参考

- 「Microsoft Outlook Express」のデータを CSV 形式に変換してエクスポートし、この製品にインポートする方法もあります。
  CSV 形式は互換性が高いため、CSV に対応している別のアプリケーションソフトでもファイルを開くことができます。
  CSV 形式のデータをインポートするときには、いったんメモ帳で文字コードを「UTF-8」にしてからインポートしてください。

ライトメール

ライトメールを保護する／保護を解除する

保存できるライトメールの最大件数を超えて送受信すると、日付の古いライトメールから順に削除されていきます。削除したくないメールは、保護して削除されないように設定できます。

保存／保護できるライトメールの最大件数

	保存できる件数	うち、保護できる件数
受信ライトメール	最大 200 件	最大 100 件
送信ライトメール（送信済み／送信待ち／下書きの合計）	最大 100 件	最大 50 件

最大件数を超えて受信すると

- 保護されたライトメールを除き、一番古い既読ライトメールから順に削除されていきます。既読ライトメールがなくなると一番古い未読ライトメールから順に削除されます。

最大件数を超えて送信すると

- 保護されたライトメールを除き、送信済みライトメールが削除されていきます。
  未送信ライトメールと保護ライトメールの合計が 100 件の場合は、ライトメールを新たに作成することができません。先に不要なライトメールを削除してください。

ライトメールを保護する

1 **ライトメールの受信トレイ画面、または送信トレイ画面を表示する。**

2 **保護するライトメールを選択し、「メニュー」－「保護」の順にクリックする。**

保護されたライトメールには、 が表示されます。

ライトメールの保護を解除する

1 **保護しているライトメール（ が表示されているライトメール）を選択する。**

2 **「メニュー」をクリックし、「保護」をクリックする。**

保護が解除され、 が消えます。

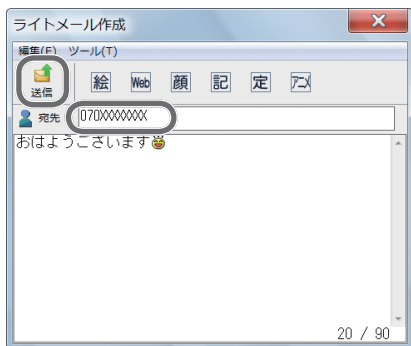
ライトメールを転送する

受信したライトメールを別の人に転送できます。

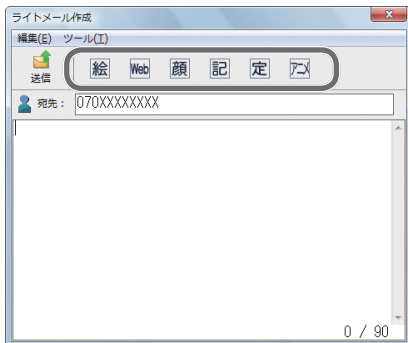
1 **ライトメールの受信トレイ画面を表示する。**

2 **転送するライトメールを選択し、「メニュー」－「転送」の順にクリックする。**

選択したライトメールの本文を引用した状態で、メール作成画面が表示されます。
本文は編集することもできます。

3 **宛先を入力し、［送信］をクリックする。**

絵文字などを入力する

ライトメールに記号、顔文字、絵文字、定型文などを入力できます。

1 **本文にカーソルがあることを確認し、画面上部の 絵 などをクリックする。**

絵文字などの入力ボードが表示されます。

- 絵：絵文字
- Web：Web 用絵文字
- 顔：顔文字
- 記：記号
- 定：定型文
- アニメ：アニメ絵文字

2 **表示された入力ボードから、入力したい文字をクリックし、再度クリックする。**

続けてクリックすると、連続して入力できます。

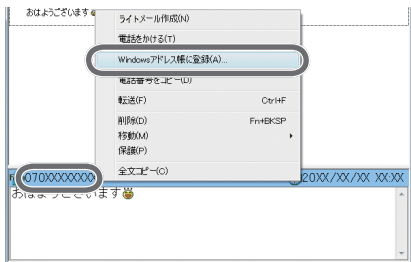
3 **入力をやめるときは、［キャンセル］をクリックする。**

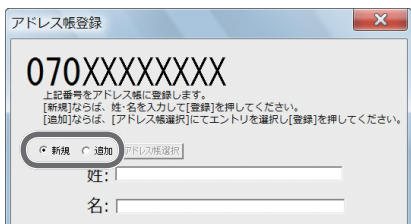
ご参考

- 手順 1 で「編集」－「特殊文字入力」－「絵文字」などをクリックしても入力ボードが表示されます。
- 定型文は編集できません。
- アニメ絵文字は、アニメ絵文字対応機種同士でやり取りできます。

ライトメールの電話番号を「Windows アドレス帳」に登録する

送信者（電話番号）や送信したライトメールの宛先（電話番号）を「Windows アドレス帳」に登録し活用できます。

1 **ライトメールの受信トレイ画面または送信トレイ画面で、登録したい電話番号を右クリックし、「Windows アドレス帳に登録」をクリックする。**

「アドレス帳登録」画面が表示されます。

2 **「新規」または「追加」を選択する。**

「追加」を選択した場合：

① ［アドレス帳選択］をクリックし、保存先のアドレス帳を選択して［開く］をクリックする。

② ［登録］をクリックする。

③ 確認画面で、［はい］または［いいえ］をクリックする。
手順 **4** に進んでください。

3 **姓、名、番号種別などの情報を入力し、［登録］をクリックする。**

登録した連絡先のプロパティ画面が表示されます。

4 **タブをクリックして各項目を入力し、［OK］をクリックする。**

ご参考

- 上記の手順で「Windows アドレス帳」に新規登録した場合は、ふりがなは自動的には入力されません。
  ［ふりがな］をクリックして、姓・名のふりがなを入力してください。

「お気に入り」を引用する

「Windows Internet Explorer」に登録されている「お気に入り」の URL（ホームページアドレス）を、ライトメールに引用することができます。

1 **ライトメールの本文入力時に、「ツール」－「引用」－「ブックマーク...」の順にクリックする。**

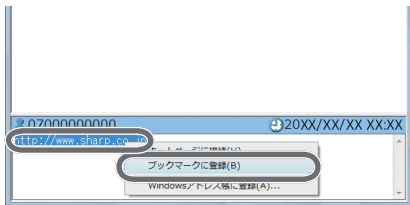
2 **引用するブックマークを選択し、［OK］をクリックする。**

ライトメールの本文にホームページのアドレスが入力されます。

「お気に入り」に登録する

ライトメールの本文中にある URL を「Windows Internet Explorer」の「お気に入り」に登録できます。

1 「お気に入り」に登録したい URL が入ったライトメールを表示する。

2 本文中の URL をクリックし、「ブックマークに登録」をクリックする。

登録が終了すると「お気に入りに登録しました」と表示されます。

3 [OK] をクリックする。

ご参考

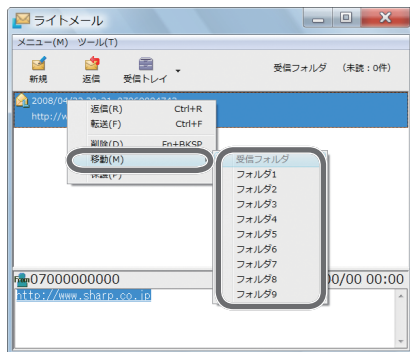
- 同じ URL がすでに登録されている場合は、「同じブックマークファイルが存在します　上書きしてよろしいですか？」と表示されます。
  必要に応じて [はい] または [いいえ] をクリックします。

受信したライトメールを整理する

受信したライトメールをフォルダに分けることができます。

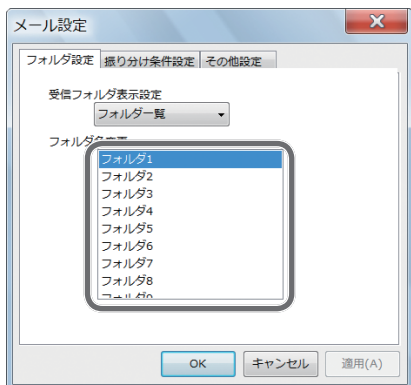
受信したライトメールをフォルダへ移動する

1 ライトメールの受信トレイ画面で、移動させたいライトメールを右クリックする。

2 表示されたメニューから「移動」をクリックし、移動先のフォルダ名をクリックする。

フォルダ名を変更する

1 **「ツール」をクリックし、「設定」をクリックする。**

「メール設定」画面が表示されます。

2 **「フォルダ設定」タブの「フォルダ名変更」から名前を変更したいフォルダをクリックする。**

「フォルダ名変更」画面が表示されます。

3 **フォルダ名を変更し、[OK]をクリックする。**

4 **[OK]をクリックする。**

受信したライトメールを振り分ける

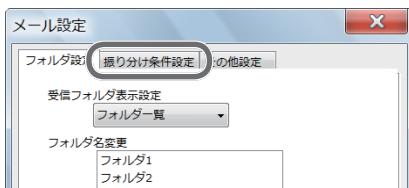
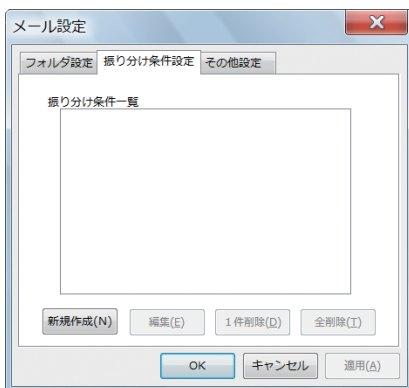
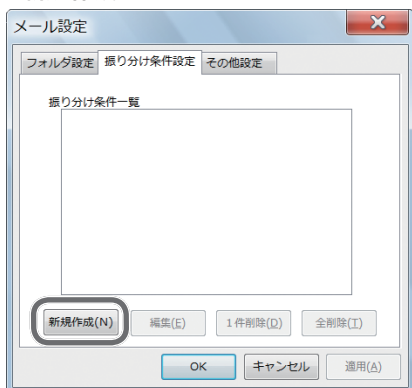
ライトメールの振り分け条件を設定しておくと、受信時に、特定の送信者（電話番号）からのライトメールを指定したフォルダに振り分けることができます。

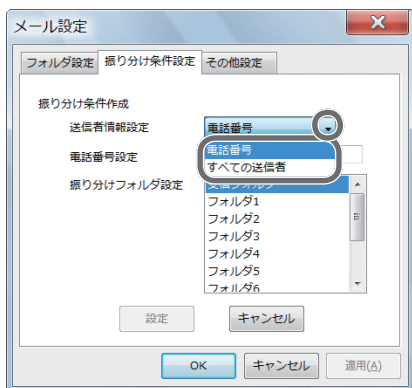
振り分け条件を設定する

はじめに、受信したライトメールの振り分け条件を設定します。
振り分け条件を設定すると、それ以降に受信したライトメールが指定したフォルダに振り分けられます。
すでに受信しているライトメールは振り分けられません。

1 **「ツール」をクリックし、「設定」をクリックする。**

「メール設定」画面が表示されます。

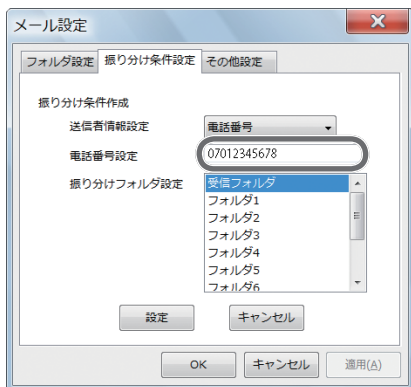
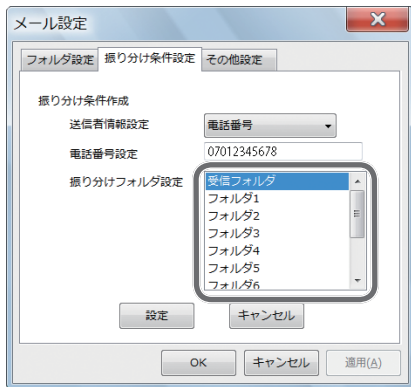
2 **「振り分け条件設定」タブをクリックする。**

「振り分け条件一覧」画面が表示されます。

3 ［新規作成］をクリックする。

「振り分け条件作成」画面が表示されます。

4 「送信者情報設定」の▼をクリックし、「電話番号」または「すべての送信者」を選択する。

電話番号：

「電話番号設定」に入力した電話番号からのライトメールが「振り分けフォルダ設定」で指定したフォルダに振り分けられます。

すべての送信者：

「電話番号」で振り分け条件を設定した電話番号以外からのすべてのライトメールが、「振り分けフォルダ設定」で指定したフォルダに振り分けられます。

5 手順４で「電話番号」を選んだ場合、「電話番号設定」に電話番号を入力する。

6 「振り分け先フォルダ設定」で振り分け先のフォルダを選択する。

ご参考

- １つの電話番号に対して選択できるフォルダは１つだけです。複数のフォルダは選択できません。

7 ［設定］をクリックする。

「振り分け条件一覧」画面に戻り、手順**５**で入力した電話番号などがリストに表示されます。

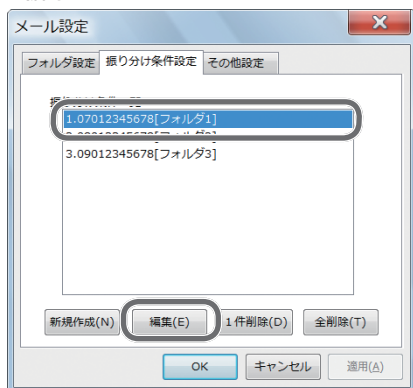
「Windows アドレス帳」にその電話番号が登録されているときは、アドレス帳での氏名が表示されます。

8 「振り分け条件一覧」画面で［OK］をクリックする。

ご参考

- 複数の電話番号の振り分け先を、同一のフォルダに指定することができます。

設定した振り分け条件を変更する

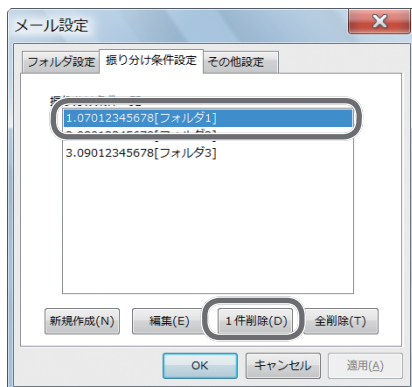
1 「振り分け条件一覧」画面で、変更したい条件（電話番号など）を選択し、［編集］をクリックする。

編集画面が表示されます。

2 電話番号や振り分けフォルダを変更し、［設定］をクリックする。

3 「振り分け条件一覧」画面で［OK］をクリックする。

設定した振り分け条件を削除する

■振り分け条件を 1 件だけ削除する

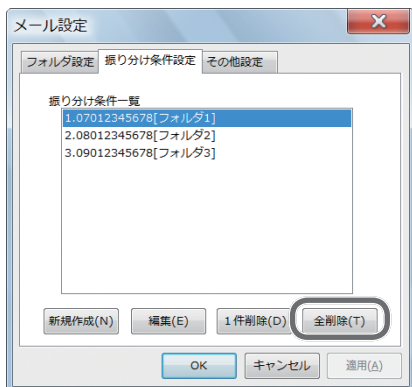
1 「振り分け条件一覧」画面で、削除したい条件(電話番号など)を選択し、[1件削除］をクリックする。

確認画面が表示されます。

2 ［はい］をクリックする。

削除されるのは振り分け条件だけです。振り分けられていたライトメールはそのまま残ります。

3 「振り分け条件一覧」画面で［OK］をクリックする。

■すべての振り分け条件を削除する

1 「振り分け条件一覧」画面で［全削除］をクリックする。

確認画面が表示されます。

2 ［はい］をクリックする。

削除されるのは振り分け条件だけです。振り分けられていたライトメールはそのまま残ります。

3 「振り分け条件一覧」画面で［OK］をクリックする。

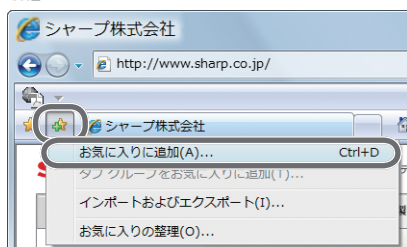
ホームページを見る

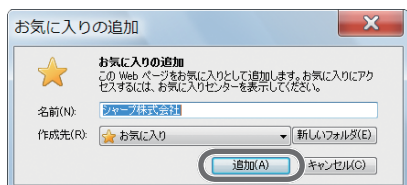
よく見るホームページを登録する

よく見るホームページは「お気に入り」に登録しておくと、「お気に入り」から選ぶだけでホームページを表示することができます。

「お気に入り」に追加する

1 「Windows Internet Explorer」で、登録したいホームページを表示する。

2 をクリックし、「お気に入りに追加」をクリックする。

「お気に入りの追加」画面が表示されます。

3 [追加] をクリックする。

ホームページが「お気に入り」に登録されます。

「お気に入り」のページを見る

1 をクリックする。

「お気に入り」に登録されているホームページの一覧が表示されます。

2 表示された一覧から、お好みのホームページのタイトルをクリックする。

選んだホームページが表示されます。

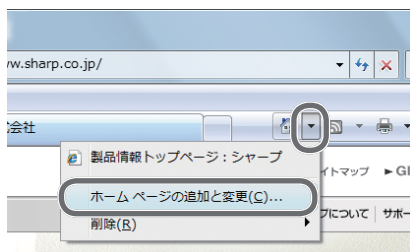
「Windows Internet Explorer」の起動時に表示されるホームページを変更する

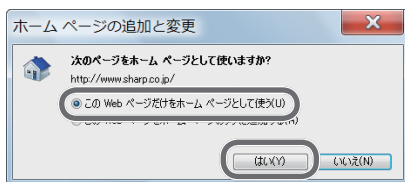
いつも見るWebサイトのページを、「Windows Internet Explorer」を起動したときに最初に表示される「ホームページ」に設定することができます。他のWebサイトを見ている場合でも、(ホーム)をクリックすると、「ホームページ」に設定したWebページが表示されます。

ご参考

- W-SIMのユーザー登録を解除してからオンラインサインアップをすると、「ホームページ」が自動的に変更されてしまいます。必要に応じて変更し直してください。

1 「Windows Internet Explorer」で、最初に表示される「ホームページ」に設定したいWebページを表示する。

2 の右側の▼をクリックし、「ホームページの追加と変更」をクリックする。

「ホームページの追加と変更」画面が表示されます。

3 「このWebページだけをホームページとして使う」をクリックし、[はい]をクリックする。

「Windows Internet Explorer」の「ホームページ」が変更されます。
いったん「Windows Internet Explorer」を終了し、再度起動して、「ホームページ」に設定したWebページが表示されるか確認してください。

複数のWebページを起動時に表示するには

- 手順3で「このWebページをホームページのタブに追加する」を選択すると、既存のホームページはそのままで、新しいタブに現在のWebページを追加することができます。
また、複数のタブが表示されているときに、「ホームページの追加と変更」画面で「現在のタブのセットをホームページとして使う」を選択すると、「Windows Internet Explorer」が起動したときに現在のWebページを含めたタブすべてを「ホームページ」として表示できます。

過去に見たホームページを表示する

1 「Windows Internet Explorer」を起動後、⭐をクリックし、「履歴」をクリックする。

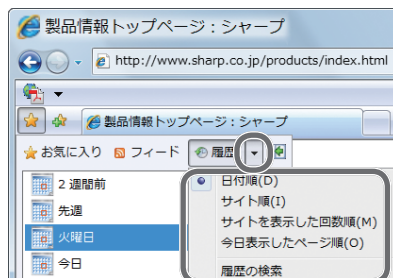
2 ホームページを見た曜日（または何週間前か）をクリックする。

その日（またはその週）に見たWebサイト名（ホームページのトップページ名）が表示されます。

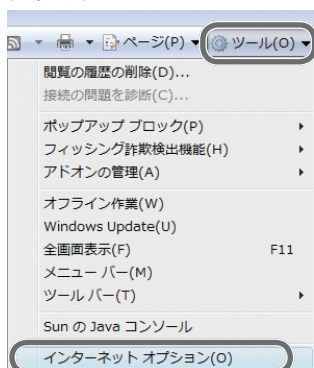
3 Webサイト名をクリックし、ホームページのタイトルをクリックする。

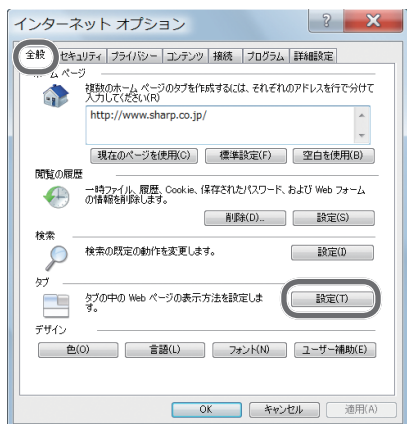
クリックすると画面右に選んだホームページが表示されます。

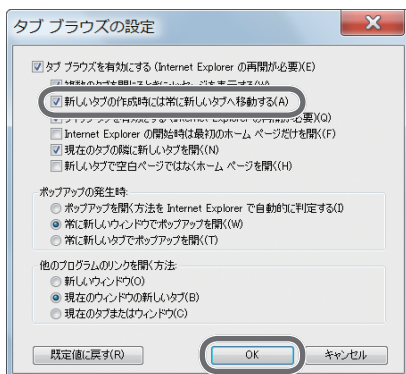
ご参考

- 「お気に入りセンター」の「履歴」の▼をクリックすると、過去に見たホームページを「日付順」「サイト順」「サイトを表示した回数順」などの項目ごとに並び替えることができます。

リンク先を新しいタブで開く

「Windows Internet Explorer」では、リンク先のページや新しいWebページを「Windows Internet Explorer」上の別のタブで表示できます。表示されているWebページを消さずに、リンク先のページを表示させたいときなどに便利です。

1 「Windows Internet Explorer」を起動後、［ツール］をクリックし、「インターネットオプション」をクリックする。

「インターネットオプション」画面が表示されます。

2 「全般」タブの「タブ」欄の［設定］をクリックする。

「タブブラウズの設定」画面が表示されます。

3 「新しいタブの作成時には常に新しいタブに移動する」にチェックマークを付け、［OK］をクリックする。

4 ［OK］をクリックして「インターネットオプション」画面を閉じる。

5 【Ctrl】キーを押しながら、リンクをクリックする。

【Ctrl】キーを押しながらクリック

リンク先のページが、新しいタブで「Windows Internet Explorer」の前面に開きます。

ご参考

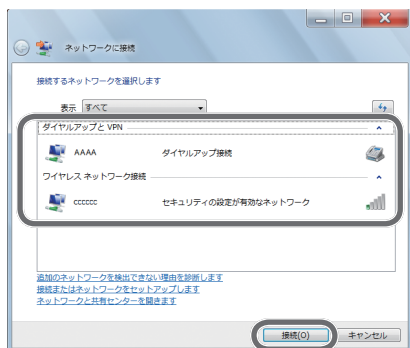
- 「お気に入り」に登録したページも、【Ctrl】キーを押しながらクリックすると新しいタブで開くことができます。
- アドレスバーに URL を入力してページを開くときや、検索バーにキーワードを入力したときは、【Alt】キーを押しながら【Enter】キーを押すと、新しいタブでページを開くことができます。
- タブの左端にある （クイックタブ）をクリックすると、現在タブで開いているすべてのページをサムネイルで確認することができます。このページでタブを閉じたり、表示を更新することもできます。
- 信頼済サイトに登録されたページなど、「Windows Internet Explorer」のセキュリティ機能の働きによってタブではなく別ウインドウで開くページもあります。

インターネットの接続設定

接続先を切り替える

1 **（スタート）をクリックし、「接続先」をクリックする。**

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

2 **切り替えたい接続名をクリックし、［接続］をクリックする。**

IP アドレスやネームサーバー、プロキシサーバーを設定する

他のプロバイダーや会社の LAN などに接続する場合は、接続するネットワークの管理者またはプロバイダーの説明書などで必要な情報を確認した後、必要に応じて以下の設定をしてください。

IP アドレスとネームサーバーの設定

ここでは例として、固定の IP アドレスとネームサーバーアドレス（DNS サーバーアドレス）を設定します。

1 **タスクバーの または をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリックする。**

「ネットワークと共有センター」が表示されます。

2 **タスク欄の「ネットワーク接続の管理」をクリックする。**

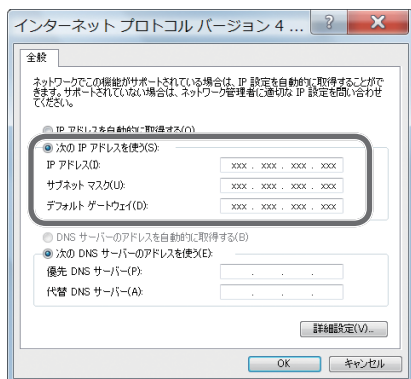
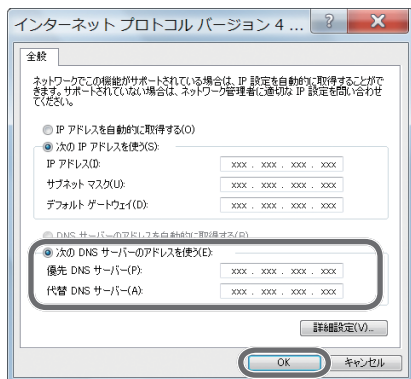
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

3 **設定するネットワーク接続を右クリックし、「プロパティ」をクリックする。**

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

4 **「ネットワーク」タブをクリックし、「インターネットプロトコルバージョン6(TCP/IPv6)」または同4(TCP/IPv4）をクリックし、［プロパティ］をクリックする。**

「インターネットプロトコルのプロパティ」画面が表示されます。

5 「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力する。

6 同じ画面で、「次の DNS サーバーのアドレスを使う」が選択されていることを確認し、優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバーを入力し、[OK] をクリックする。

プロキシサーバーの設定

接続するネットワークにプロキシサーバーがある場合は「Windows Internet Explorer」で以下の手順でプロキシサーバーの設定をします。

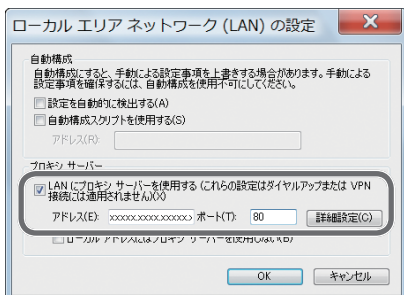
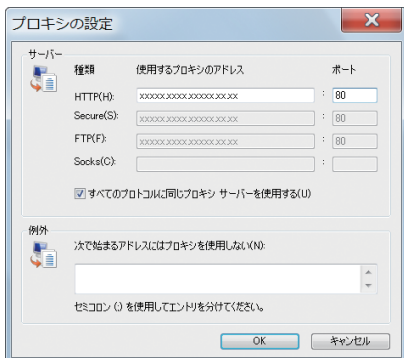
1 （スタート）をクリックし、「インターネット」をクリックする。

「Windows Internet Explorer」が起動します。

2 [ツール] ー「インターネットオプション」をクリックする。

3 「接続」タブをクリックし、[LAN の設定] をクリックする。

「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面が表示されます。

4 「LAN にプロキシサーバーを使用する」にチェックマークを付け、「アドレス」にプロキシサーバーのアドレスを、「ポート」にポート番号を入力する。

5 ネットワークで、HTTP、FTP などの異なるサービスに対して別のプロキシサーバーがある場合は、[詳細設定] をクリックし、「プロキシの設定」画面で別のプロキシサーバーのアドレスを入力して [OK] をクリックする。

6 [OK] をクリックする。

ご参考

- この他にもお使いのアプリケーションソフトによっては個別にプロキシサーバーなどの設定が必要な場合があります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプなどを参照してください。

ワンセグを録画する

「StationMobile5」で、ワンセグ放送をこの製品のハードディスクに録画することができます。microSD カードなどの外部メディアに録画することはできません。
録画予約について詳しくは、「StationMobile 取扱説明書」を参照してください。

「StationMobile 取扱説明書」を表示するには

- （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「PIXELA」－「StationMobile5」－「StationMobile 取扱説明書」の順にクリックします。
- 初めて起動したときは、『**基本編**』（冊子）の「**6 章 ワンセグ**」－「**ワンセグを見る**」を参照して、チャンネル設定をしてください。

録画したデータの再生について

- 録画データは、録画した機器でのみ再生できます。
- 録画データは、microSD カードや外付けハードディスクなどにバックアップできます。バックアップした録画データは、元の保存場所に戻すことで再生が可能です。

ご注意

- 録画が途中で止まってしまうことを避けるために、AC アダプターを接続することをお勧めします。
- 録画予約を設定していると、この製品がスリープや休止状態に移行していても、録画開始 5 分前に自動的に復帰して録画を始めます。録画開始までの時間が 5 分以内のときにスリープや休止状態にすると、正しく録画できない場合があります。
- 録画開始前に「StationMobile5」をタスクトレイモードから終了したり、この製品をシャットダウンで終了したりすると、予約録画は実行されません。
- 予約録画を実行するには、予約設定をしたユーザーアカウントでログオンしている必要があります。
- 録画中に、この製品をログオフやシャットダウンしたり、休止状態にすると録画は停止します。Windows Update によって自動的にこの製品が再起動された場合も録画は停止します。
- 受信状態が悪い場所で予約録画が実行されると、正しく録画できないことがあります。
- 録画中は、チャンネルを切り換えて、他の放送局の番組を視聴できません。

見ている番組を録画する

1 **録画したい番組を表示する。**

チャンネル操作などについては、『**基本編**』(冊子)の「**6 章 ワンセグ**」−「**ワンセグを見る**」を参照してください。

2 **操作パネルの をクリックする。**

録画が始まります。

3 **録画を停止するには、 をクリックする。**

録画中に「StationMobile5」を完全に終了したり、この製品をログオフまたはシャットダウンして終了する場合は、先に をクリックして録画を停止してください。

ご参考

- 録画開始後に録画オフタイマーを設定して、録画を終了する時間を指定できます。
  操作パネルの［録画タイマー］をクリックし、表示されるメニューから録画終了時間を選択してクリックします。
  録画オフタイマーを設定しない場合、最大 6 時間で録画は停止します。
- 録画した番組を再生するときは、「**録画した番組を再生する**」(☞47 ページ)を参照してください。

録画予約する

「StationMobile5」では、番組表から録画したい番組を選んで録画予約できます。また、録画開始時間と終了時間を指定して録画予約することもできます。

※録画予約はフルウィンドウモードで設定します。全画面モードやミニウィンドウモードのときは、 をクリックしてフルウィンドウモードに切り換えてから設定してください。

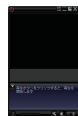
■各ウィンドウモードについて

フルウィンドウモード

「StationMobile5」の基本的な表示状態で、3つのウィンドウから構成されています。

全画面モード

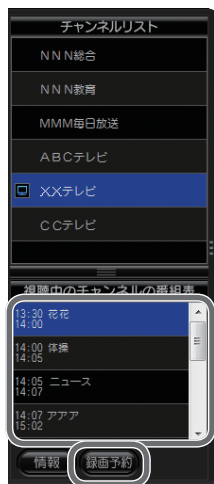
ワンセグ放送の番組を、画面全体に表示します。

ミニウィンドウモード

ワンセグ放送の番組を、コンパクトな状態で視聴するのに適した表示モードです。

タスクトレイモード

タスクトレイに が表示された状態です。
「StationMobile5」の画面右上の を クリックすると、タスクトレイモードになります。

番組表から予約する

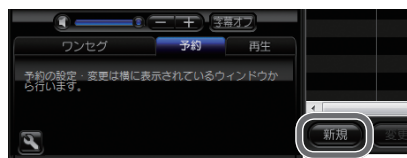
1 **「視聴中のチャンネルの番組表」から番組名を選び、［録画予約］をクリックする。**

番組表に表示される番組数は、放送局によって異なります。
予約設定ができると、「番組を予約しました」と表示されます。

2 **［OK］をクリックする。**

日時を指定して予約する

1 **操作パネルの「予約」タブをクリックする。**

メインウィンドウの右に予約リスト画面が表示されます。

2 **「予約リスト」の下部にある［新規］をクリックする。**

予約設定画面が表示されます。

3 **予約設定の各項目を入力し、［この内容で予約］をクリックする。**

予約日時、チャンネルなどを設定します。

4 **× をクリックする。**
「StationMobile5」はタスクトレイモードになり、タスクバーに が表示されます。

ご参考

- 予約録画の開始前に を右クリックし「終了」をクリックすると、「StationMobile5」は完全に終了してしまい、録画予約の設定は無効となるので、録画は実行されません。

録画予約設定を変更する

1 予約リストから変更する予約設定をクリックし、[変更] をクリックする。

2 表示される予約編集画面で、変更したい項目を編集し、[この内容に変更] をクリックする。

予約設定を削除する

予約リストには、録画待ちの番組だけでなく、録画が完了した番組や録画を中止した番組など、すでに終了している予約も表示されます。終了した予約は以下の方法で予約リストから削除できます。

1 予約リストから削除したい予約設定を選択して [削除] をクリックする。

2 [はい] をクリックする。

録画した番組を再生する

ご参考

- 「StationMobile5」をお使いになるときは、ACアダプターを接続することをお勧めします。
- 「StationMobile5」と同時に、他のアプリケーションソフトを使用すると、コマ落ちが発生することがあります。

1 「StationMobile5」を起動し、操作パネルの「再生」タブをクリックする。

画面右に録画番組リストが表示されます。録画番組リストが表示されない場合は、をクリックします。

2 録画番組リストから再生する番組名をクリックし、[再生]をクリックする。

3 再生を停止するには、操作パネルのをクリックする。

録画番組の再生途中で停止すると、次回再生時には、前回停止した場所から再生を始めます。先頭から再生する場合は、再生スライダーを先頭までドラッグします。

再生スライダーを先頭までドラッグします

追いかけ再生

- 録画中に、録画中の番組をさかのぼって再生（追いかけ再生）することもできます。
  録画中に「再生」タブをクリックし、録画中の番組名をクリックして[再生]をクリックします。再生を停止するときは、「再生」タブの操作パネルのをクリックします。

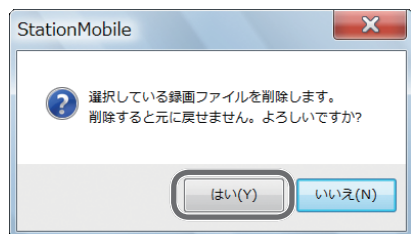
録画した番組を削除する

録画した番組のデータ容量は約 5.2 時間分が 1GB になります。保存している録画ファイルが多くなると、ハードディスク容量が不足してこの製品の動作が不安定になる原因になります。不要な録画番組は、以下の手順に従って削除してください。

1 「再生」タブをクリックする。

2 録画番組リストから削除する番組を選択し、[削除] をクリックする。

確認画面が表示されます。

3 [はい] をクリックする。

ご参考

- 「StationMobile5」に関しては株式会社ピクセラまでお問い合わせください。
  詳しくは、『**基本編**』(冊子)の「**10 章 付録**」－「**主な付属ソフトウェア一覧とお問い合わせ先**」を参照してください。

セキュリティ

悪質なコンピュータウイルスやスパイウェアの侵入を防ぐ

コンピュータウイルスとは、意図的に作成された悪質なプログラムの一種です。また、スパイウェアとは、知らないうちにこの製品に侵入し、この製品に保存されている情報や操作の履歴を無断で第三者に漏らしてしまうソフトウェアのことを言います。この製品がコンピュータウイルスやスパイウェアに感染すると、ハードディスク内のデータが破壊されたり、外部からこの製品を操作されたりなど、さまざまな被害が生じます。こうしたコンピュータウイルスに感染しないよう日ごろから感染の予防をしましょう。
コンピュータウイルスからの感染を防ぐには、次のような方法があります。

ウイルス感染を予防するには

■ Windows やアプリケーションソフトウェアを更新する

マイクロソフト社が提供する「Windows Update」というサポート機能を使って、インターネット経由で Windows の更新プログラムをインストールすることができます。「Windows Update」を実行すると、ウイルスの侵入や不正アクセスなどの入口となる「セキュリティホール」と呼ばれる Windows の問題点が自動的に修復されます。
「Windows Update」を使って、Windows を最新の状態に保つようにしましょう。
「Windows の自動更新」は「Windows Update」を自動的に実行する機能です。「自動更新」を「有効」に設定して、自動的に常に最新の状態に保つこともできます。
「自動更新」の設定内容は、（スタート）をクリックし、「コントロールパネル」をクリックし、「セキュリティ」欄の「セキュリティ状態の確認」をクリックすると表示される「Windows セキュリティセンター」で確認および変更できます。

ご参考

- 「Windows Update」はインターネットに接続するため通信料がかかります。さらに、データ量が多いときは時間もかかるため、ワイヤレス LAN などの高速ネットワークの利用をお勧めします。（『**基本編**』（冊子）の「**2 章 インターネットやメールの準備**」－「**インターネットに接続する方法**」を参照してください。）
また、W-SIM での通信は、時間がかかるだけではなく、通信中は電話やライトメールなども利用できません。

■セキュリティ対策ソフトをアップデートする

新種のコンピュータウイルスやスパイウェアに対応するためには、セキュリティ対策ソフトを定期的にアップデートして、最新の状態にしておく必要があります。(「**「ウイルスバスター 2008」を使う**」☞ 次ページ)

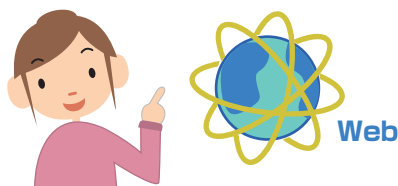
■メールの添付ファイルは、開く前にウイルス検査をする / 知らない人からのメールは不用意に開かない

メールやメールに添付されたファイルからウイルスに感染してしまうこともあります。知らない差出人からのメールやタイトルが不審なものなど、怪しいなと思ったメールやその添付ファイルは開かない、添付ファイルを開く前にウイルスチェックをする、といった対策を取ることが大切です。

怪しい添付ファイルは
開かないもん！

■インターネットからダウンロードしたり、他から入手したファイルは、開く前にウイルス検査をする

信頼できないサイトや入手先が不明なファイルなどは、ウイルスに感染する危険性が高いので、注意してください。

怪しいリンクは
クリックしないもん！

■アプリケーションソフトウェアのセキュリティ機能を活用する

- 「Microsoft Office Word」や「Microsoft Office Excel」のファイルを扱うときは、マクロ機能の自動実行を無効にしてください。
- 「Windows メール」や「Microsoft Office Outlook」のプレビューウィンドウを表示しないでください。(「**メールのプレビュー表示をやめる**」☞24 ページ)
- 「Windows Internet Explorer」のセキュリティレベルを適切(「中」レベル以上)に設定してください。

設定方法などについて詳しくはそれぞれのソフトウェアのヘルプなどを参照してください。

「ウイルスバスター 2008」を使う

ウイルスチェックをする

「ウイルスバスター 2008」を使ってウイルスチェックができます。

1 **タスクバーの をダブルクリックする。**

「ウイルスバスター 2008」のメイン画面が表示されます。

2 **「現在の状況」をクリックし、[検索開始]をクリックする。**

ウイルスの検索が始まります。
検索中は「検索進行状況」画面が表示されます。
ご購入時の設定では、検索の結果何も見つからなければ、「検索進行状態」画面は、検索が終了すると自動的に閉じます。
検索結果が表示された場合は内容を確認し、[閉じる]をクリックします。
ウイルスやスパイウェアが見つかった場合は、画面の指示に従います。詳しくは、「ウイルスバスター 2008」のヘルプを参照してください。

3 **画面右上の X をクリックして「ウイルスバスター 2008」のメイン画面を閉じる。**

ご参考

- 「ウイルスバスター 2008」の現在のセキュリティ状況は、タスクバーの をダブルクリックして表示される「ウイルスバスター 2008」のメイン画面の「現在の状況」をクリックすると確認できます。
- 「現在の状況」に「アップデート機能を有効にしてご利用ください」と表示されているときは、アップデート機能が有効になっていません。
- 「ウイルスバスター 2008」に関しては、トレンドマイクロ株式会社までお問い合わせください。詳しくは、**『基本編』**(冊子)の「**10 章 付録**」－「**主な付属ソフトウェア一覧とお問い合わせ先**」を参照してください。

セキュリティ対策ソフトを最新の状態にする

この製品には、セキュリティ対策ソフト「ウイルスバスター 2008」が搭載されています。「ウイルスバスター 2008」を最新の状態にするには、メールアドレスを登録して、アップデート機能を有効にする必要があります。

「ウイルスバスター 2008」でアップデート機能を有効にする手続きが完了すると、無償で 90 日間自動的にアップデートします。

「ウイルスバスター 2008」について詳しくは、『**ウイルスバスター 2008 のご案内**』（別紙）を参照してください。

ご参考

- 「ウイルスバスター 2008」のアップデート機能はインターネットに接続するため通信料がかかります。さらに、データ量が多いときは時間もかかるため、ワイヤレス LAN などの高速ネットワークの利用をお勧めします。（『**基本編**』（冊子）の「**2 章 インターネットやメールの準備**」－「**インターネットに接続する方法**」を参照してください。）
  また、W-SIM での通信は、時間がかかるだけではなく、通信中は電話やライトメールなども利用できません。
- 「ウイルスバスター 2008」は、90 日版（無料お試し版）です。試用期間が過ぎると、全ての機能が利用できなくなります。試用期間終了後も継続してご利用いただくには、試用期間内に、ダウンロード販売などで製品版を購入してください。

音楽を楽しむ

この製品に取り込んだ音楽データを聴く

インターネット上からダウンロードした音楽ファイルなどがこの製品に保存されている場合、「Windows Media Player」を使って再生できます。

ご参考

- 初めて起動すると「Windows Media Player11 for Windows Vistaへようこそ」画面が表示されます。
  画面の指示に従って設定を選択し、[完了]をクリックします。

1 この製品に保存した音楽ファイルをダブルクリックする。

「Windows Media Player」が起動し、再生が始まります。
曲が自動再生されないときは、（再生ボタン）をクリックします。

ご参考

- （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「Windows Media Player」の順にクリックして「Windows Media Player」を起動し、音楽ファイルを「プレイ ビュー」画面にドラッグ＆ドロップして聴くこともできます。

2 再生が終了したら、画面右上の をクリックして「Windows Media Player」を閉じる。

Bluetooth対応ヘッドホンで音楽を聴く

市販のBluetooth対応ヘッドホンなどを使ってワイヤレスで音楽を聴くことができます。

ご参考

- すべてのBluetooth対応ヘッドホンでの動作を保証するものではありません。

Bluetoothを有効にする

1 【Fn】＋【S】（ ）キーを押してタスクバーの を青色（有効）にする。

青色　：Bluetooth有効
グレー：Bluetooth無効

2 ヘッドホンのBluetoothを有効にする。

詳しくはヘッドホンの説明書を参照してください。

ヘッドホンとの接続を確立する（ペアリング）

Bluetooth 対応ヘッドホンを、初めてこの製品に接続するときは、「ペアリング」をして、ヘッドホンとこの製品とを接続する必要があります。
ペアリングの方法について詳しくは『**基本編**』（冊子）の「**10 章 付録**」－「**Bluetooth**」－「**ヘッドセットで通話する**」－「**ヘッドセットとの接続を確立する（ペアリング）**」を参照してください。

ヘッドホンを使って音楽を聴く

1 **ヘッドホンを装着する。**

2 **Windows Media Player などを起動し、好みの音楽を再生する。**

ヘッドホンの操作について詳しくは、ヘッドホンの説明書を参照してください。

ヘッドホンがプロファイル AVRCP に対応しているときは

- ヘッドホンで Windows Media Player を操作して曲の再生、停止、選曲などができます。詳しくは、ヘッドホンの説明書を参照してください。

3 **接続を終了するときは、 を右クリックし、「接続の解除」をクリックする。**

音楽視聴中に通話したときは

- Bluetooth 対応ヘッドセットで音楽を視聴中に通話をすると、「Bluetooth 拡張オーディオ」(A2DP) での接続が切断されてしまい、終話後もヘッドセットから音楽が聞こえなくなります。再び Bluetooth 対応ヘッドセットで音楽を聞く場合は、「Bluetooth 拡張オーディオ」(A2DP) で接続し直してください。

他のパソコンとの連携

ファイルを共有する

ファイル共有を有効にすると、ネットワークに接続された他のパソコンからこの製品のデータを見たり、編集できるようになります。
ファイル共有には、ファイルを「パブリックフォルダ」に保存して共有する場合と、パブリックフォルダ以外の場所に保存されたファイルを共有に設定して使用する場合があります。
ここでは、この製品と同じネットワークに接続されている他のパソコンとの間でのファイル共有方法を説明します。

ご注意

- 共有フォルダなどへの不正なアクセスを防ぐため、公共のアクセスポイントなどを利用するときは、共有設定を無効にしておくことをお勧めします。

ワークグループ名とコンピュータ名を確認する

この製品および、同じネットワーク上のファイル共有したい相手のそれぞれで、コンピュータ名とワークグループ名を確認し、必要に応じて名前を変更します。

コンピュータ名：
この製品のコンピュータ名とファイル共有したい相手のコンピュータ名が同じ場合は、名前を変更する必要があります。必ず異なるコンピュータ名を付けてください。

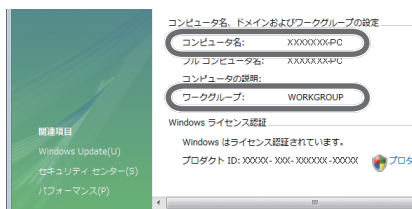
ワークグループ名：
ファイル共有の相手側がWindows XP搭載のパソコンの場合は、この製品と同じワークグループ名にする必要があります。共有相手がWindows Vista搭載パソコンの場合は、同じ名前である必要はありません。

この製品のコンピュータ名とワークグループ名は次の手順で確認します。

1 **（スタート）をクリックし、「コンピュータ」をクリックする。**
「コンピュータ」画面が表示されます。

2 **「システムのプロパティ」をクリックする。**

「システム」画面が表示されます。

3 「コンピュータ名、ドメイン名およびワークグループの設定」欄でコンピュータ名とワークグループ名を確認する。

コンピュータ名やワークグループ名を変更する必要がなければ、画面右上の［×］をクリックして「システム」画面を閉じます。
コンピュータ名あるいはワークグループ名を変更する場合は、以下の手順で操作します。

4 「設定と変更」をクリックする。

「設定と変更」が見つからないときは、右および下方向に画面をスクロールしてください。

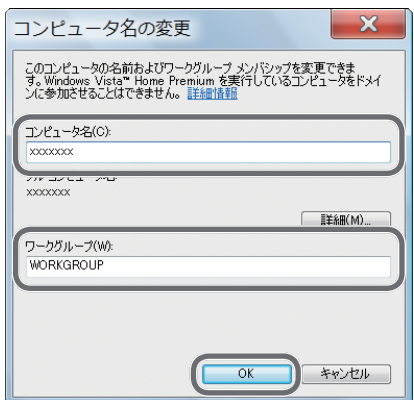
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

5 ［続行］をクリックする。

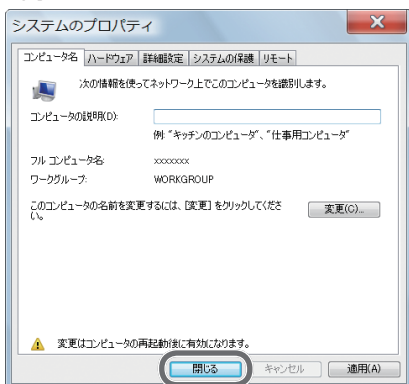
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

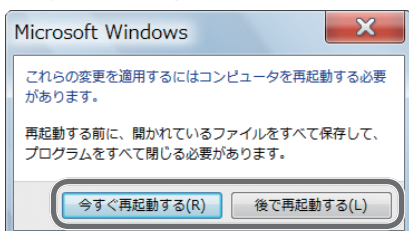
6 ［変更］をクリックする。

「コンピュータ名の変更」画面が表示されます。

7 コンピュータ名やワークグループ名を変更し、［OK］をクリックする。

「これらの変更を適用するには、お使いのコンピュータを再起動する必要があります」と表示されます。

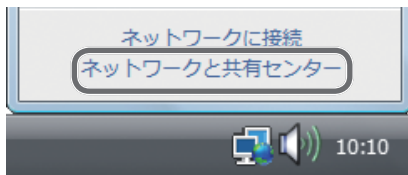
8 ［OK］をクリックする。

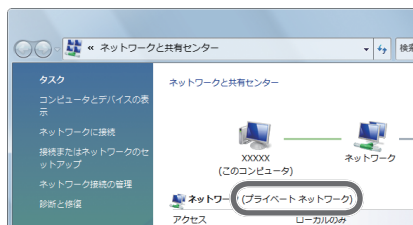
9 [閉じる] をクリックする。

再起動を促すメッセージが表示されます。

10 [今すぐ再起動する] または [後で再起動する] を選択してクリックする。

再起動すると、変更した設定が有効になります。

11 [後で再起動する] を選択したときは、画面右上の をクリックして「システム」画面を閉じる。

「ネットワークと共有センター」でネットワーク設定を確認する

1 タスクバーの をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリックする。

「ネットワークと共有センター」が表示されます。

2 接続しているネットワークの場所の種類が、「プライベートネットワーク」になっているか確認する。

「パブリックネットワーク」と表示されているときは、設定を変更します。

①「カスタマイズ」をクリックする。
②「場所の種類」の「プライベート」をクリックし、[次へ]をクリックする。
③「ユーザーアカウント制御」画面で[続行]をクリックする。
④「場所の種類」が「プライベートネットワーク」に変更されたことを確認して、[閉じる]をクリックする。

ご参考

- PHS での接続や、公共のアクセスポイントへ接続する場合は、不正アクセス防止のため、「パブリックネットワーク」のままでお使いください。

3 「共有と探索」欄の設定を確認する。

ネットワーク探索：有効にします。

ファイル共有：任意のファイルを共有する場合は有効にします。

パブリックフォルダ共有：パブリックフォルダのファイルやフォルダをネットワーク上の他のパソコンと共有する場合は有効にします。

プリンタ共有：この製品に接続したプリンターを共有する場合は有効にします。

パスワード保護共有：有効にすると、他のパソコンからこの製品にアクセスするときにユーザーアカウントとパスワードの入力が必要になります。

メディア共有：Windows Media Playerの音楽、ビデオ、画像といったファイルを共有する場合は有効にします。

それぞれの設定を変更するには、項目欄の右端にある ⌄ をクリックし、画面の指示に従って操作します。

パブリックフォルダで共有する

この製品を使用している他のユーザーや、ネットワーク上の他のパソコンとファイルを共有するためのフォルダとして「パブリック」フォルダがあります。
ネットワーク上の他のパソコンから、この製品のパブリックフォルダにアクセスするには、以下の手順でパブリックフォルダの共有を有効にしてください。

1 「ネットワークと共有センター」の「共有と探索」欄の「パブリックフォルダ共有」の ⌄ をクリックする。

アクセス制限の設定項目が表示されます。

2 次のいずれかをクリックし、「適用」をクリックする。

共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はファイルを開くことができるようにする：
同じネットワーク上にあるパソコンから、この製品のパブリックフォルダにアクセスして、ファイルを開くことに限って許可する場合にクリックします。ファイルの作成や変更はできません。

共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はファイルを開く、変更する、作成することができるようにする：
同じネットワーク上にあるパソコンから、この製品のパブリックフォルダにアクセスして、ファイルを開くことおよびファイルを作成、または変更することを許可する場合にクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

3 **［続行］をクリックする。**

「パブリックフォルダ共有」が「有効」に変わります。

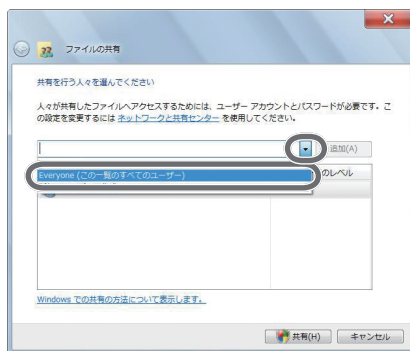
他のパソコンからパブリックフォルダに保存されたファイルやフォルダが閲覧できるようになります。

任意のフォルダを共有する

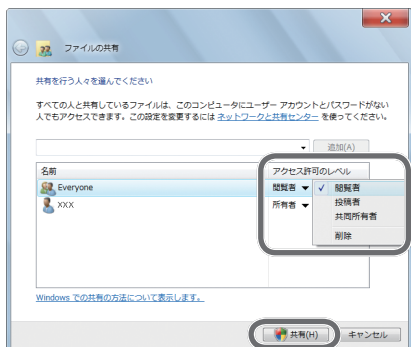
パブリックフォルダ以外の場所に保存されているファイルやフォルダを共有するときは、「ネットワークと共有センター」の「共有と探索」で「ファイル共有」を有効に設定したうえで、以下の操作で共有に設定します。

1 **共有したいファイルやフォルダを右クリックし、「共有」をクリックする。**

「ファイルの共有」画面が表示されます。

2 **▼をクリックし、一覧から「Everyone(この一覧のすべてのユーザー)」をクリックする。**

3 ［追加］をクリックする。

「Everyone」が一覧に追加されます。

4 「アクセス許可のレベル」欄の▼をクリックし、「閲覧者」、「投稿者」、「共同所有者」のいずれかを選択し、［共有］をクリックする。

閲覧者　：共有ファイルの閲覧のみができます。登録したときは、「閲覧者」に設定されています。

投稿者　：共有ファイルの閲覧および変更、追加、削除ができます。共有設定がフォルダではなく、ファイルのみの場合、アクセス許可レベルの「投稿者」は表示されません。

共同所有者　：共有ファイルの閲覧および変更、追加、削除ができます。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

5 ［続行］をクリックする。

設定が完了すると、「ユーザーのフォルダは共有されています。」と表示されます。

6 ［終了］をクリックする。

共有に設定されたファイルやフォルダに が表示されます。

ご参考

- （スタート）をクリックし、「ネットワーク」をクリックすると、同じネットワーク上にあるパソコンが表示されます。他のパソコンに保存されている共有ファイルやフォルダを閲覧するときは、ここからアクセスします。
- ファイルやフォルダの共有について詳しくは、Windows の「ヘルプとサポート」を参照してください。

他のパソコンからデータを転送する

Windows Vistaの「Windows 転送ツール」を使用すると、他のパソコンからこの製品に、壁紙などのWindowsの設定や、インターネットやメールの設定、作成したファイルなどを簡単に移すことができます。
「Windows 転送ツール」でデータ転送するためには、あらかじめ他のパソコンとこの製品を同じネットワーク上に接続しておくか、データ転送用の大容量のディスクをご用意ください。専用の転送ツールケーブル（市販品）で接続することもできます。

ご注意

- データ転送が途中で止まってしまうことを避けるために、AC アダプターを接続してください。

「Windows 転送ツール」で転送できるデータ

■転送元が Windows XP または Windows Vista 搭載のパソコン

- ユーザーアカウントおよび設定
- フォルダとファイル (音楽、画像、著作権保護されていないビデオなど)
- プログラムの設定
- インターネットの設定と「お気に入り」
- 電子メールの設定、アドレス帳、およびメール

■転送元が Windows 2000 搭載のパソコン

- フォルダとファイル (音楽、画像、著作権保護されていないビデオなど)

■転送元が Windows Me またはそれ以前のパソコン

Windows 転送ツールを使ってのデータの転送はできません。

データ転送は大まかに以下のような流れで操作します。相手側のパソコンのOSやデータの転送方法によって具体的な手順は異なるので、「Windows 転送ツール」の画面表示に従って操作してください。

①	Windows 転送ツールを起動する。

⇩

②	転送方法を選択する。 （LAN、専用の転送ツールケーブル（市販品）、CD/DVDなどの外部メディア経由など）

⇩

③	転送元のパソコンでWindows 転送ツールを起動する。 転送元のパソコンがWindows XPまたはWindows 2000の場合は、「Windows 転送ツール」をインストールする。

⇩

⇩

④	転送元のパソコンとこの製品を接続する。または転送元パソコンに外部メディアを接続する。

⇩

⑤	転送したいデータを選択する。

⇩

⑥	選択したデータを転送する。 外部メディアを使用する場合は、この製品に外部メディアを接続し、データを読み込む。

⇩

⑦	Windows 転送ツールを終了する。

データを転送する

1 **(スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」−「アクセサリ」−「システムツール」−「Windows 転送ツール」の順にクリックする。**

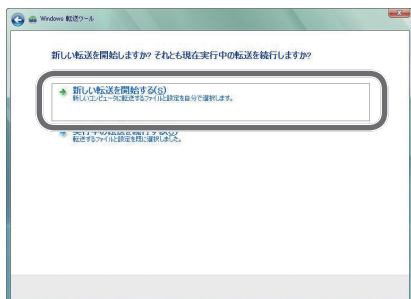
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

2 **[続行]をクリックする。**

「Windows 転送ツール」が起動します。

3 **[次へ]をクリックする。**

「新しい転送を開始しますか?」と表示されます。

4 **「新しい転送を開始する」をクリックする。**

5 **「現在使用しているコンピュータはどれですか?」と表示されます。**

「新しいコンピュータ」をクリックします。

「転送ツールケーブルをお持ちですか?」と表示されます。

6 **Windows 転送ツール専用のケーブル(市販品)をお持ちの場合は「はい、転送ツールケーブルがあります」をクリックし、お持ちでない場合は「いいえ、他のオプションを表示します」をクリックします。**

これ以降については、お使いになる転送方法によって手順が異なります。画面の指示に従って操作してください。

バックアップする

この製品を使っていくうちに、さまざまなデータがハードディスクの中に保存されていきます。この製品が故障してデータが読み出せなくなるなど万一の場合に備えて、大切なデータは microSD カードや USB メモリーなどハードディスク以外の場所にコピーしておきましょう。データをコピーして他の場所に保存しておくことを「バックアップ」といいます。大切なデータは、定期的にバックアップすることをお勧めします。

microSD カードにデータを保存する

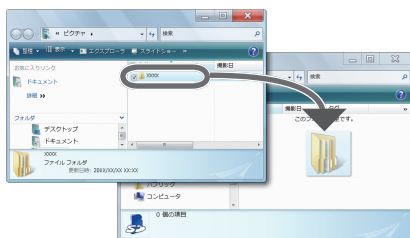
この製品には microSD カードスロットが搭載されているので、microSD カードにこまめにデータをコピーしておくことができます。microSD カードはあまり容量の大きくないファイルやフォルダを保存しておくのに適しています。
この製品のデータを microSD カードに保存するには、次の手順に従って操作してください。

1 microSD カードをこの製品の microSD カードスロットに差し込む。

「自動再生」画面が表示されます。
「自動再生」画面が表示されずに microSD カードのフォルダが開いた場合は、手順 **3** へ進みます。

2 「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックする。

（お使いの機種と microSD カードに保存されているデータにより、表示される画面が異なることがあります。）
microSD カードのフォルダが開きます。

3 データを保存しているフォルダを開き、microSD カードのフォルダにデータをドラッグ＆ドロップする。

microSD カードに、データがコピーされます。

4 microSD カードにデータが入ったことを確認したら、画面右上の をクリックして開いている画面を閉じる。

5 この製品から microSD カードを取り出す。

詳しくは、『**基本編**』（冊子）の「**1 章 基本操作**」－「**microSD カードや周辺機器の取り外し**」を参照してください。

ご注意

- この製品のカメラで撮影したデータが microSD カードの「DCIM」フォルダに保存されている場合があります。誤って「DCIM」フォルダを削除しないようにしてください。

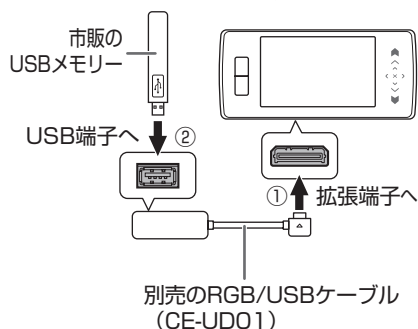
ご参考

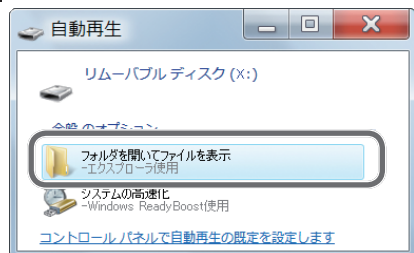
- コピー中に「microSD カードに十分な領域がありません。…」と表示されたときは、microSD カードの空き容量が不足しています。[キャンセル] をクリックし、microSD カードの中のデータで不要なものを削除するなどして、microSD カードの空き容量を増やしてから、コピーしてください。

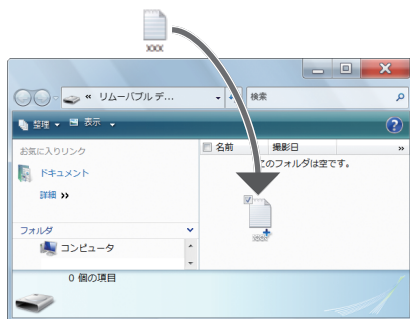
USB メモリーにデータを保存する

市販の USB メモリーを使うと USB ポート搭載のパソコンへ比較的簡単にデータを移すことができます。
この製品のデータをUSB メモリーに取り込むには、次の手順に従って操作してください。

1 この製品に USB メモリーを取り付ける。

① この製品の拡張端子に、別売の RGB/USB ケーブル（CE-UD01）を接続する。
② RGB/USB ケーブルの USB 端子に、USB メモリーを差し込む。

「自動再生」画面が表示されます。
「自動再生」画面が表示されずに USB メモリーのフォルダが開いた場合は、手順 3 へ進みます。

2 「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックする。

（お使いの機種と USB メモリーに保存されているデータにより、表示される画面が異なることがあります。）
USB メモリーのフォルダが開きます。

3 データを保存しているフォルダを開き、USB メモリーのフォルダにデータをドラッグ & ドロップする。

USB メモリーに、データがコピーされます。

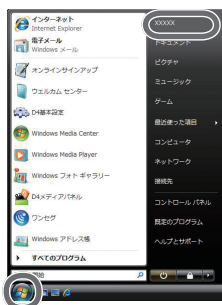
4 USB メモリーにデータが入ったことを確認したら、画面右上の ✕ をクリックして開いている画面を閉じる。

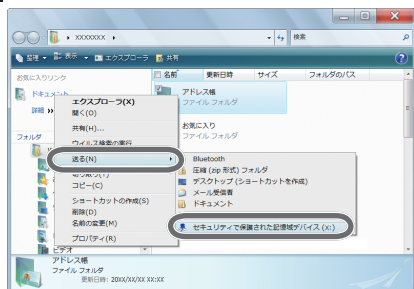
5 この製品から USB メモリーを取り外す。

① RGB/USB ケーブルから、USB メモリーを取り外す。
詳しくは、『**基本編**』（冊子）の「**1 章 基本操作**」－「**microSD カードや周辺機器の取り外し**」を参照してください。
② この製品から RGB/USB ケーブルを取り外す。

「Windows アドレス帳」をバックアップする

「Windows アドレス帳」はバックアップできます。「Windows アドレス帳」をバックアップしておくと、この製品が故障したときなど万一の場合に備えるだけでなく、この製品を買い替えたときなどにもこの方法で「Windows アドレス帳」のデータを移動することができます。
ここでは、この製品が故障したときなど万一の場合に備えて、microSD カードを保存先に選択します。あらかじめ書き込み可能な microSD カードを microSD カードスロットにセットしておいてください。

1 **（スタート）をクリックし、ユーザー名のフォルダをクリックする。**

「xxxxx」には、設定しているユーザー名が表示されます。
ユーザーフォルダが開きます。

2 **「アドレス帳」フォルダを右クリックし、「送る」－ をクリックする。**

microSD カードに「アドレス帳」フォルダがコピーされたことを確認します。

3 **画面右上の をクリックして開いている画面を閉じる。**

ご参考

- microSD カードではなく、この製品の他のフォルダに保存するときは、「アドレス帳」フォルダを右クリックし、「コピー」をクリックします。保存場所のフォルダ内のアイコンなどが何もない場所で右クリックし、「貼り付け」をクリックします。

バックアップした「Windows アドレス帳」を復元する

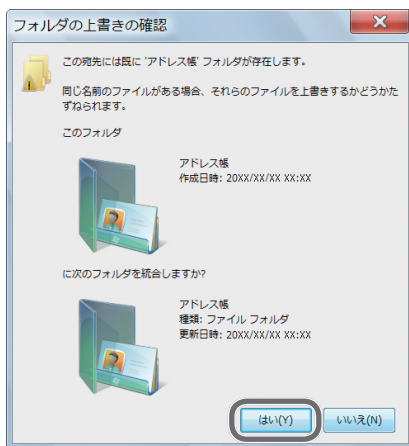
バックアップした「Windows アドレス帳」の「アドレス帳」フォルダを復元します。「アドレス帳」フォルダが保存されたmicroSDカードをあらかじめこの製品にセットしておいてください。

1 （スタート）をクリックし、ユーザー名のフォルダをクリックする。

「xxxxx」には、設定しているユーザー名が表示されます。
ユーザーフォルダが開きます。

2 microSDカードの「アドレス帳」フォルダをユーザーフォルダにドラッグ＆ドロップする。

「フォルダの上書きの確認」画面が表示されます。

3 ［はい］をクリックする。

ファイルのコピーの確認画面が表示されたときは

●以下の項目から保持するファイルを選びます。
コピーして置き換える：
　復元するファイルを上書きします。
コピーしない：
　ファイルを上書きしません。
コピーするが両方のファイルを保持する：
　別のファイル名でコピーします。

4 ユーザーフォルダの「アドレス帳」フォルダを開き、復元できているか確認する。

5 画面右上の ✕ をクリックして、開いている画面を順に閉じる。

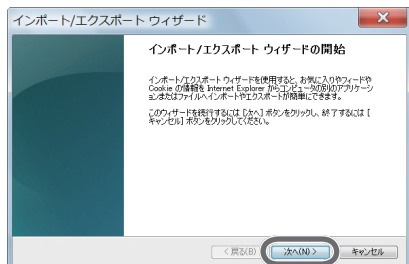
ご参考

●他のメールソフトなどの「アドレス帳」データをこの製品で使用するときは、「Windows アドレス帳」のツールバーの「インポート」をクリックし、保存されているファイル形式を指定して「アドレス帳」データを取り込み（インポート）します。

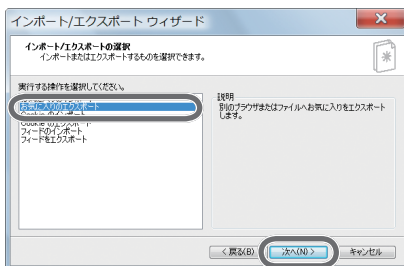
「Windows Internet Explorer」の「お気に入り」をバックアップする

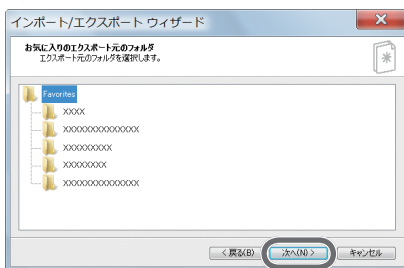
「Windows Internet Explorer」の「お気に入り」はバックアップできます。「お気に入り」をバックアップしておくと、この製品が故障したときなど万一の場合に備えるだけでなく、この製品を買い替えたときなどにもこの方法で「お気に入り」のデータを移動することができます。
ここでは、この製品が故障したときなど万一の場合に備えて、microSD カードを保存先に選択します。あらかじめ書き込み可能な microSD カードを microSD カードスロットにセットしておいてください。

1 **「Windows Internet Explorer」を起動後、 をクリックし、「インポートおよびエクスポート ...」をクリックする。**

「インポート / エクスポートウィザード」画面が表示されます。

2 **［次へ］をクリックする。**

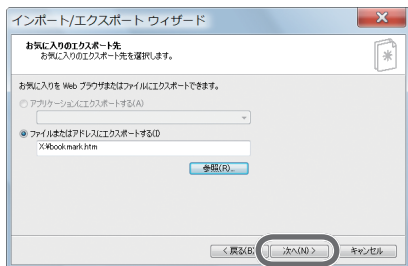
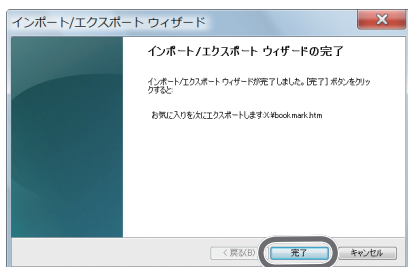
「インポート / エクスポートの選択」画面が表示されます。

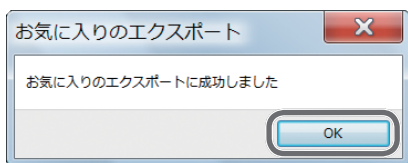
3 **「お気に入りのエクスポート」をクリックし、［次へ］をクリックする。**

「お気に入りのエクスポート元のフォルダ」画面が表示されます。

4 **［次へ］をクリックする。**

「お気に入りのエクスポート先」画面が表示されます。

5 **［参照］をクリックする。**

6 **ファイルの保存場所を「リムーバブルディスク」に指定して［保存］をクリックする。**

7 ［次へ］をクリックする。

8 ［完了］をクリックする。

「お気に入りのエクスポートに成功しました」と表示されます。

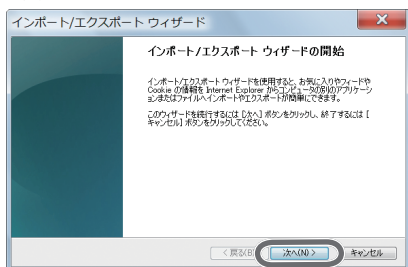
9 ［OK］をクリックする。

バックアップした「Windows Internet Explorer」の「お気に入り」を復元する

あらかじめ「お気に入り」のデータを保存した microSD カードを microSD カードスロットにセットしておいてください。

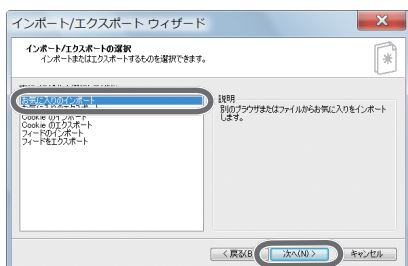
ご参考

- 以下の方法で復元した場合、バックアップしているデータの中で、現在の「Windows Internet Explorer」の「お気に入り」にないデータだけが追加されます。

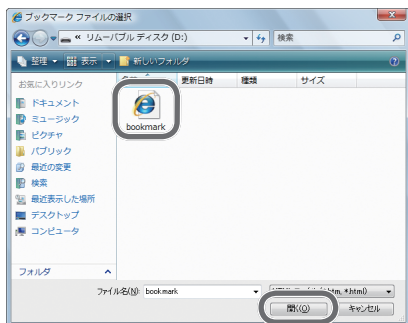
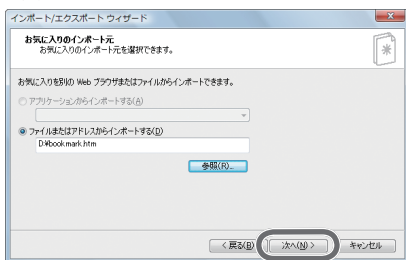
1 「Windows Internet Explorer」を起動後、 をクリックし、「インポートおよびエクスポート ...」をクリックする。

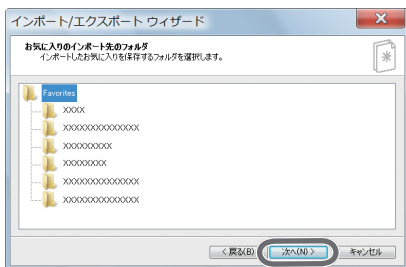
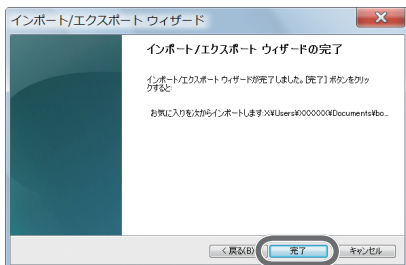
「インポート / エクスポートウィザード」画面が表示されます。

2 ［次へ］をクリックする。

「インポート／エクスポートの選択」画面が表示されます。

3 「お気に入りのインポート」が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックする。

「お気に入りのインポート元」画面が表示されます。

4 ［参照］をクリックする。

5 バックアップした「お気に入り」のデータを保存した場所を指定し、「bookmark」ファイルをクリックして［開く］をクリックする。

6 ［次へ］をクリックする。

「お気に入りのインポート先のフォルダ」画面が表示されます。

7 ［次へ］をクリックする。

8 ［完了］をクリックする。

「お気に入りのインポートに成功しました」と表示されます。

9 ［OK］をクリックする。

故障かな？と思ったら

“故障かな？”と思っても、調べてみると故障ではないこともあります。
トラブルによっては、製品自体の故障ではなく、Windows やソフトウェア、または周辺機器に関するトラブルの場合もあります。
修理をご依頼になる前に、ここに記載されている内容を A① から順に参照して問題の解決方法がないか、もう一度よくお確かめください。
また、下記の説明書やヘルプも参照してください。

- 『**基本編**』（冊子）の「**12 章 故障かな？と思ったら**」
- D4 サポートページ（**http://d4support.sharp.co.jp/**）
- （スタート）をクリックし、「ヘルプとサポート」をクリックして表示されるヘルプ画面
- お使いのソフトウェアや周辺機器の説明書、ヘルプ

■それでも問題が解決しないときは

シャープ「お客様相談センター」へ問い合わせてください。（☞『**基本編**』（冊子）－「**10 章 付録**」－「**主な付属ソフトウェア一覧とお問い合わせ先**」）

電源／省電力／バッテリーに関するトラブル

Q 電源が入っていると、この製品から音がする

A① 冷却ファンやハードディスクが動作している音です

この製品には、動作時の内部の熱を逃がすための冷却ファンが内蔵されており、高速で回転するため風切り音がします。
また､ハードディスクにアクセスするときにもアクセス音がすることがあります｡場合によっては、これらの音が多少大きく聞こえることがあります。ご了承ください。

Q バッテリー残量と実際の操作時間に差がある

A① バッテリーの残量表示と実際の操作時間には誤差が生じることがあります

バッテリーの残量は概算によるものです。使用状況によって誤差が生じますので、目安としてお使いください。
また、電源を入れた直後や AC アダプターを抜き差ししてすぐは、残量が正しく表示されないことがあります。

A② バッテリーパックを初期化してください

詳しくは､『**基本編**』（冊子）の「**9 章 別売品について**」－「**バッテリーパックの初期化と交換**」－「**バッテリーパックを初期化する**」を参照してください。

Q バッテリーの使用時間が以前より短くなった

A① バッテリーパックを初期化してください

詳しくは、『**基本編**』（冊子）の「**9 章 別売品について**」－「**バッテリーパックの初期化と交換**」－「**バッテリーパックを初期化する**」を参照してください。

A② 新しいバッテリーパックに交換してください

バッテリーパックは消耗品です。充放電を繰り返すうちにバッテリーが劣化し、使用時間が短くなってきます。充電しても極端に使用時間が短くなったときは、新しいバッテリーパックを購入し、交換してください。

新しいバッテリーパックは、ウィルコムストア（オンライン購買）でご購入いただけます。（在庫につきましては、ウィルコムストアにご確認ください）なお、取り寄せになりますがウィルコム販売店でもご購入いただけます。

また、バッテリーパックの交換方法については、『**基本編**』（冊子）の「**9 章 別売品について**」－「**バッテリーパックの初期化と交換**」－「**バッテリーパックを交換する**」を参照してください。

Q タスクバーにバッテリーアイコン（ ）や AC 電源アイコン（ ）が表示されない

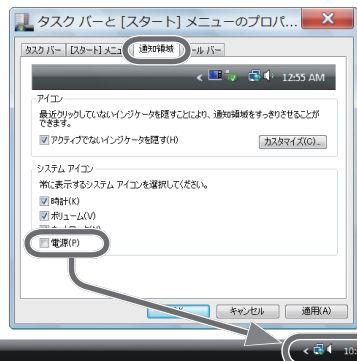
A① 常にアイコンを表示するように設定されているか確認してください

タスクバーの通知領域にある「電源」アイコンは、ご購入時の設定では常に表示されるように設定されていますが、設定を変更すると表示されなくなります。以下の手順で、設定状態を確認してください。

1 タスクバーのアイコンなどが何もない場所で右クリックし、「プロパティ」をクリックする。

「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」画面が表示されます。

2 「通知領域」タブをクリックし、「システムアイコン」欄で「電源」にチェックマークが付いているか確認する。

「電源」にチェックマークが付いていないと、タスクバーの通知領域には電源アイコンは表示されません。「電源」をクリックし、チェックマークを付けてください。

3 ［OK］をクリックする。

「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」画面が閉じます。

（バッテリー状態）ランプがオレンジ色から黄緑色の点灯に変わらない

バッテリーの充電中です

（バッテリー状態）ランプがオレンジ色に点灯しているときは、バッテリーの充電中です。充電が終了すると黄緑色の点灯に変わります。
充電時間の目安は、『**基本編**』（冊子）の「**10 章 付録**」－「**仕様一覧**」を参照してください。

A② バッテリーパックを初期化してください

詳しくは、『**基本編**』（冊子）の「**9 章 別売品について**」－「**バッテリーパックの初期化と交換**」－「**バッテリーパックを初期化する**」を参照してください。

A③ 新しいバッテリーパックに交換してください

バッテリーが劣化している可能性があります。新しいバッテリーパックを購入し、交換してください。
新しいバッテリーパックは、ウィルコムストア（オンライン購買）でご購入いただけます。（在庫につきましては、ウィルコムストアにご確認ください）なお、取り寄せになりますがウィルコム販売店でもご購入いただけます。
また、バッテリーパックの交換方法については、『**基本編**』（冊子）の「**9 章 別売品について**」－「**バッテリーパックの初期化と交換**」－「**バッテリーパックを交換する**」を参照してください。

ネットワーク接続に関するトラブル

Q ブロードバンド接続なのにインターネットへの接続時に、ダイヤルアップ接続画面が表示される／ダイヤルアップ接続なのに、ダイヤルアップ接続画面が表示されない

A① 「インターネットのプロパティ」で設定を変更してください

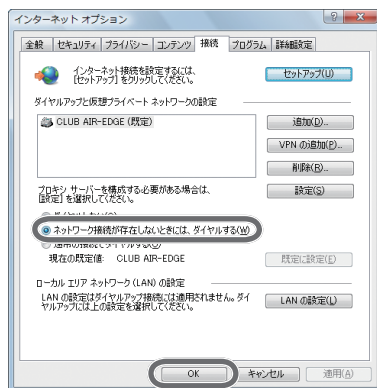
ブロードバンド接続を使用しているのに、ダイヤルアップ接続画面が表示される場合、またはダイヤルアップ接続なのにダイヤルアップ接続画面が表示されない場合は、以下の手順で設定を変更してください。

1 （スタート）をクリックし、「コントロールパネル」をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「ネットワークとインターネット」をクリックする。

3 「インターネットオプション」をクリックする。
「インターネットオプション」画面が表示されます。

4 「接続」タブをクリックする。

5 「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」をクリックして選択し、[OK] をクリックする。

6 画面右上の をクリックして開いている画面を順に閉じる。

Q 今までインターネットに接続できていたのに、接続できなくなった

A① ネットワーク接続の「診断と修復」で問題を修復します

詳しくは、『**基本編**』（冊子）の「**12 章 故障かな？と思ったら**」－「**ネットワーク接続に関するトラブル**」－「**ワイヤレス LAN でインターネットに接続できない**」の **A11** を参照してください。

A② PHS 通信機能を使って接続している場合、『基本編』（冊子）の「12 章 故障かな？と思ったら」－「ネットワーク接続に関するトラブル」－「PHS 通信機能でインターネットに接続できない」を参照してください

A③ ワイヤレス LAN を使って接続している場合、ブロードバンドモデムや無線 LAN アクセスポイントなど通信機器の電源とケーブル類の接続を確認してください

お使いのブロードバンドモデム（ADSL モデム、ケーブルモデム、回線終端装置など）や無線 LAN アクセスポイントなどの通信機器の電源が入っているか、AC アダプターが抜けていないか、また、モデムケーブルや LAN ケーブルが、ブロードバンドモデムやモジュラージャックなどから抜けていないか確認してください。

A④ ワイヤレス LAN を使って接続している場合、ブロードバンドモデムのランプが正しく点灯しているか確認してください

お使いのブロードバンドモデム（ADSL モデム、ケーブルモデム、回線終端装置など）のランプで通信状態を確認することができます。ブロードバンドモデムの点灯状態については、お使いの機器の説明書やプロバイダーの資料を参照してください。

A⑤ ワイヤレス LAN 接続で ADSL をお使いの場合、いったん ADSL モデムの電源を切り、再度電源を入れて接続を確認してください

一度 ADSL モデムの電源スイッチを切り、入れ直すことで、接続できるようになることもあります。また、ADSL モデムの電源スイッチを切って電源コードをコンセントから抜き、しばらくしてから差し直して電源を入れると、動作が改善する場合もあります。
ADSL モデムの電源のオン、オフについては、ADSL モデムの説明書などを参照してください。
CATV 接続の場合は常にデータ通信を行っているため、ケーブルモデムの電源をオフにできない場合があります。事前に CATV 局の説明書などで確認してください。

A⑥ ワイヤレス LAN を使って接続している場合、モデムケーブル、LAN ケーブルなどを接続し直してください

ADSL モデムや無線 LAN アクセスポイントなど、使用している通信機器の電源を切り、いったんケーブル類を取り外した後、接続し直してください。接続し直すことで修復される場合があります。
ケーブルを接続するときには、必ず機器の説明書を参照して、正しい手順で接続します。なお、CATV 接続では、ケーブルモデムの電源を切ることができない場合があります。CATV 局の説明書で確認してください。

A⑦ 時間を置いてもう一度接続してください

回線やサーバーの故障・工事・メンテナンスなども考えられます。時間を置いて接続するとつながることもあります。

A⑧ セキュリティ対策ソフトのファイアウォール機能などによって、ネットワークへのアクセスが制限される場合もあります

セキュリティ対策ソフトのファイアウォール機能などによってネットワークへのアクセスが制限され、インターネットに接続できなくなることもあります。詳しくはセキュリティ対策ソフトのヘルプやソフトウェアメーカーのホームページなどでご確認ください。

A⑨ この製品を再起動してください

再起動すると動作が改善される場合もあります。再起動するには、（スタート）をクリックし、スタートメニュー画面の（ロックボタン）右横の をポイントし、「再起動」をクリックします。

Q ネットワーク上の他のパソコンから、この製品のフォルダが見えない

A① 「ネットワークと共有センター」で確認します

「ネットワークと共有センター」で、この製品のネットワーク接続の状態や共有設定が確認できます。他のパソコンから、この製品のファイルやフォルダが見えないときは、「**「ネットワークと共有センター」でネットワーク設定を確認する** 」（☞57 ページ）を参照し、ネットワーク接続の状態やネットワークの場所の種類、ネットワーク共有に必要な設定を確認してください。

A② コンピュータ名とワークグループ名を確認します

コンピュータ名が同じ製品があるとネットワーク上で表示されません。
「**ワークグループ名とコンピュータ名を確認する**」（☞55 ページ）を参照して、この製品のコンピュータ名とワークグループ名を確認してください。

A③ フォルダが共有設定されているか確認してください

パブリックフォルダを使用せず、任意のフォルダを共有する場合、共有したいフォルダに マークがついているかどうかを確認します。
フォルダに マークがない場合は、「**任意のフォルダを共有する**」（☞59 ページ）を参照して、フォルダを共有するよう設定してください。
なお、共有フォルダなどへの不正なアクセスを防ぐため、公共のアクセスポイントなどを利用するときは、共有設定を無効にしておくことをお勧めします。

ご参考

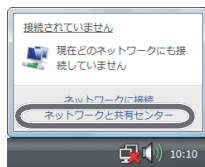
- 「ネットワークと共有センター」の「共有と探索」で「パブリックフォルダ共有」が有効になっている場合は、ファイルやフォルダをパブリックフォルダに保存するだけで、他のパソコンから閲覧できるようになります。

A④ セキュリティ対策ソフトのファイアウォール機能などによって、ネットワークへのアクセスが制限される場合もあります

セキュリティ対策ソフトのファイアウォール機能などによってネットワークへのアクセスが制限され、共有フォルダにアクセスできなくなることもあります。詳しくはセキュリティ対策ソフトのヘルプやソフトウェアメーカーのホームページなどでご確認ください。

Q インターネットに接続中に、いきなり接続が切断されてしまう

A① タスクバーのネットワークアイコンを確認してください

タスクバーのネットワークアイコンが [アイコン] になっているときは、ネットワークに接続できていません。ネットワークアイコンをクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリックして、接続の状態などを確認してください。

インターネットに接続できているのに、急に今まで見ていたホームページが見られなくなった場合などは、そのホームページのサーバーのトラブルなどが考えられます。一度他のホームページを表示してみるなどして、確認してください。

A② ネットワーク接続の「診断と修復」で問題を修復します

詳しくは、『**基本編**』（冊子）の「**12 章 故障かな？と思ったら**」－「**ネットワーク接続に関するトラブル**」－「**ワイヤレス LAN でインターネットに接続できない**」の **A11** を参照してください。

A③ ワイヤレス LAN を使って接続している場合、「今までインターネットに接続できていたのに、接続できなくなった」の A3 ～ A9（☞75 ～ 76 ページ）を参照してください

A④ お使いのメールソフトや Web ブラウザを再起動してください

「Windows メール」などのメールソフトや「Windows Internet Explorer」などの Web ブラウザなど、お使いになっていたプログラムをいったん終了し、再度起動してください。再起動することで、接続できるようになることがあります。

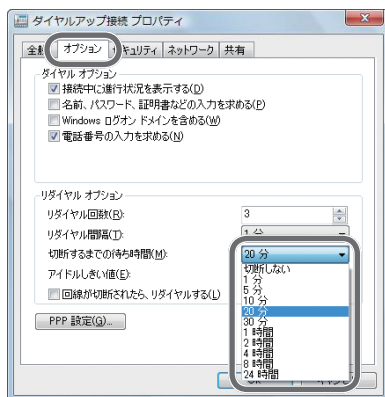
ダイヤルアップ接続の場合、次のような点も確認してください

● **ダイヤルアップ接続の場合、設定によっては、一定時間アクセスしないと自動的に切断される場合があります。**
接続が切断されるまでの時間を変更するには、ダイヤルアップ接続のプロパティ画面で設定を変更してください。

1 タスクバーの をクリックし、「ネットワークに接続」をクリックする。
「ネットワークに接続」画面が表示されます。

2 ダイヤルアップ接続をクリックし、[接続]をクリックする。
「ダイヤルアップ接続へ接続」画面が表示されます。

3 [プロパティ]をクリックする。
「ダイヤルアップ接続プロパティ」画面が表示されます。

4 「オプション」タブをクリックし、「切断するまでの待ち時間」の▼をクリックして、接続を切断するまでの時間をクリックする。

5 [OK]をクリックする。
「ダイヤルアップ接続プロパティ」画面が閉じます。

6 画面右上の をクリックして、画面を順に閉じる。

●**メールソフトの設定を確認してください。**
メールソフトがメールの送受信後、自動的に切断するように設定されている場合は、ホームページを見ている途中に切断されます。

メールに関するトラブル

Q ライトメールを送信／受信できない

A① W-SIM ユーザーでログオンしているか確認してください

W-SIM ユーザー以外のユーザー名でログオンしていると、ライトメールを送受信できません。W-SIM ユーザーで再度ログオンしてください。

A② W-SIM ロックがかけられていないか確認してください

W-SIM ロックがかけられていると、ライトメールの受信ができません。
『**基本編**』（冊子）の「**3 章 電話**」－「**セキュリティなど電話の設定をする**」－「**セキュリティをかける**」を参照して、W-SIM ロックを解除してください。

A③ 宛先となる電話番号を確認してください

ライトメールは、ライトメール対応電話機にのみ送信できます。
また、「Windows アドレス帳」などからライトメールに対応していない電話機の電話番号宛てにライトメールを作成すると、その宛先には送信できません。（作成したライトメールは送信待フォルダに保存されます）。

A④ 送信相手の状態によって、一時的にライトメールを送信できないことがあります

送信相手が電源を切っている、圏外、話中などの場合は、ライトメールを送信できません。
送信できないライトメールは送信待フォルダに保存されるので、時間を置いて送信してください。

A⑤ 通話／通信が制限されていないか確認してください

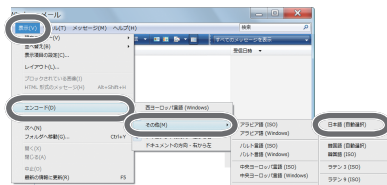
通話や通信機能が制限されている場合、ライトメールを送信できません。
詳しくは、『**基本編**』（冊子）の「**3 章 電話**」－「**セキュリティなど電話の設定をする**」－「**セキュリティをかける**」を参照してください。

Q 受信したメールが文字化けしている

A① 受信メールに半角のカタカナや特殊記号が使われている可能性があります

半角のカタカナや特殊記号（丸付き数字や罫線文字、絵文字など）が受信メールに含まれていると、文字化けの原因になることがあります。もし含まれている場合は、メールの送信元に、このような文字を使用しないように依頼してください。

A② 「エンコード」を「日本語（自動選択)」に変更してください

「Windows メール」で受信したメールが文字化けしていたときは、「エンコード」を「日本語（自動選択)」に設定すると正しく表示できることがあります。メールを開いた状態でメニューバーの「表示」をクリックし、「エンコード」－「その他」－「日本語（自動選択)」をクリックします。

ご参考

- 送られてきたメールが文字化けしていたときには、送信元にメールソフトの文字コードの設定を確認してもらってください。

A③ 送られてきたメールが迷惑メール（スパムメール）の可能性があります

日本語以外の言語で書かれた迷惑メール（スパムメール）の可能性があります。差出人名に覚えがないメールには返信したり問い合わせしたりせずに、削除することをお勧めします。

送ったメールが文字化けしていると言われた

A① 「Windows メール」の場合、送信形式をテキスト形式にしてください

「Windows メール」でメールの送信形式を「HTML 形式」に設定している場合、送信先のメールソフトが HTML メールに対応していないと、読みにくいメールになります。
「**メールの送信形式を変更する**」（☞25 ページ）を参照して、メールの送信形式をテキスト形式に変更してください。

A② 環境依存文字を使用すると文字化けすることがあります

メールを作成するときに、文字の変換候補から「環境依存文字（unicode)」と表示された文字を選択して入力すると、メールの送信先で文字化けが起こることがあります。
これは、文字コード「JIS X 0213：2004」に対応していないメールソフトでは、「環境依存文字（unicode)」が表示できないためです。メール送信の際の文字入力で、「環境依存文字（unicode)」を使用するときにはご注意ください。

ご参考

- 変換候補の中で「環境依存文字（unicode)」と表示される文字は、Windows Vista から使用できるようになった文字です。
  Windows Vista では、文字コード「JIS X 0213:2004」（JIS2004）に対応した日本語フォントが搭載されているため、Windows XP 以前の OS では表示できなかった字体や文字が使えるようになりました。ただし、Windows Vista で作成した文書やメールを、「JIS X 0213:2004 」に対応していない Windows XP 以前の OS やプログラム、Web システム上などで表示すると、入力されている文字が
  ・以前の字体で表示されてしまう
  ・表示されない
  ・文字化けする（字体が崩れたり、まったく違う文字や記号などで表示されること）
  といったことが起こる可能性があります。
  Windows Vista で変更された字体や追加された文字については、下記のマイクロソフト社のホームページを参照してください。

  「Windows Vista で拡張された文字について」
  http://support.microsoft.com/kb/927488/ja
  （ホームページの URL は、予告なく変更される場合があります。）

「Windows メール」の添付ファイルが開けない／「Windows メール」の添付ファイルを保存できない

添付ファイルを開くために必要なプログラムがインストールされているか確認してください

「Windows メール」で「指定されたファイルに対してこの操作を行うプログラムが関連付けられていません。」と表示され、添付ファイルが開けない場合は、添付ファイルを開くために必要なプログラムがインストールされていないことが考えられます。
送信元へファイルを作成したプログラム名を聞くなどして、必要なプログラムを確認してください。送信した人に、開くことのできる形式でファイルを送り直してもらうよう依頼することも方法のひとつです。

ご参考

- 添付されているファイルの拡張子を参考に、ファイルを開くために必要なプログラムを確認することもできます。
  拡張子とは、ファイル名の後ろについているファイルの種類を表す文字です。主な拡張子としては、次のようなものがあります。

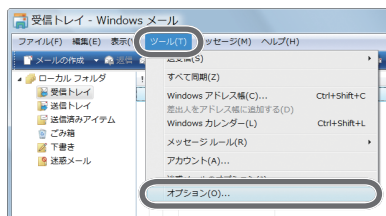
txt	：テキストファイル
doc	：テキストファイル、「Microsoft Word」形式の文書データ
docx	：テキストファイル、「Microsoft Word」2007 の文書データ
xls	：「Microsoft Excel」形式の文書データ
xlsx	：「Microsoft Excel」2007 の文書データ
htm、html	：インターネット上でよく使われている文書ファイル
bmp、jpg、gif	：画像データ
chm、hlp	：ヘルプファイル
wav、mp3	：音声データ
exe、com	：実行可能プログラム
dll	：ダイナミックリンクライブラリー（実行可能プログラムの一部）のファイル

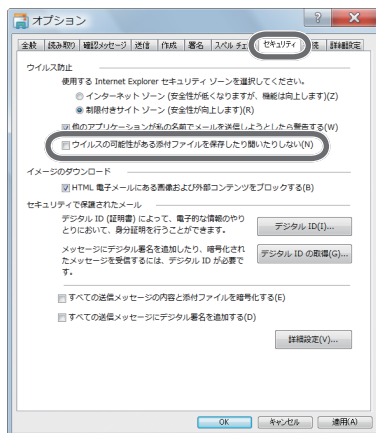
「Windows メール」で、ウイルス防止の設定を確認してください

「Windows メール」のウイルス防止のためのセキュリティ設定を変更すると、添付ファイルを保存したり、開いたりできるようになります。

ご注意

- セキュリティ設定を変更したままにしておくと、受信したすべてのメールの添付ファイルを開くことができるようになります。添付ファイルは、ウイルスに感染していないか必ず確認したうえで開いてください。

1「Windowsメール」を起動後、メニューバーの「ツール」をクリックし、「オプション」をクリックする。

「オプション」画面が表示されます。

2「セキュリティ」タブをクリックし、「ウイルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない」をクリックしてチェックマークを外す。

3［OK］をクリックする。

「オプション」画面が閉じます。

4 メールを開き、添付ファイルをダブルクリックする。

「メールの添付ファイル」画面が表示されます。

5 ファイルの安全性を確認して、［開く］をクリックする。

ファイルが開きます。

Q 「次の添付ファイルは安全でないため、使用できなくなりました」と表示された

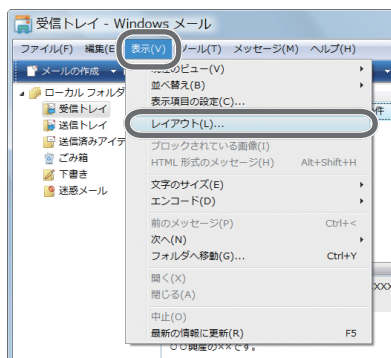
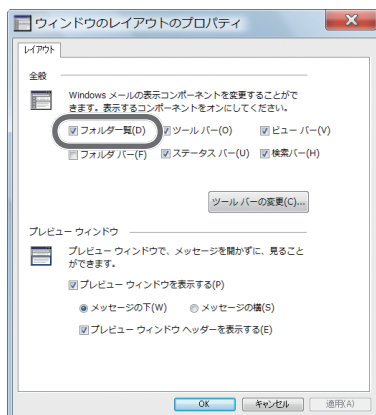
A① 「Windows メール」で、ウイルス防止の設定を確認してください

詳しくは、「**「Windows」メールの添付ファイルが開けない／「Windows メール」の添付ファイルを保存できない**」の **A2**（☞ 前ページ）を参照してください。

「Windows メール」の画面左側にあった「受信トレイ」や「送信トレイ」などのフォルダー一覧が表示されない

「表示」メニューの「レイアウト」から設定すると表示できます

1 「Windows メール」を起動後、メニューバーの「表示」をクリックし、「レイアウト」をクリックする。

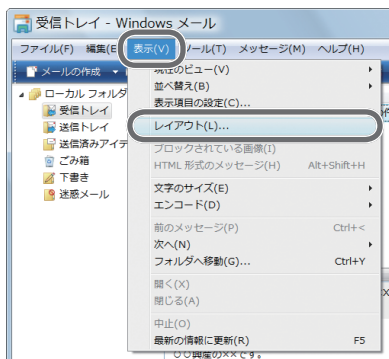
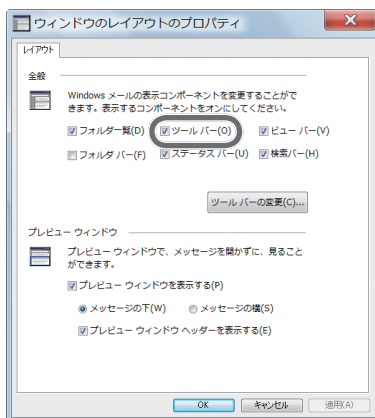
「ウィンドウのレイアウトのプロパティ」画面が表示されます。

2 「全般」欄の「フォルダー一覧」をクリックしてチェックマークを付ける。

3 [OK] をクリックする。

「ウィンドウのレイアウトのプロパティ」画面が閉じます。
「Windows メール」の画面左側に「フォルダー一覧」が表示されます。「フォルダー一覧」だけではなく、ステータスバーや検索バーなどの表示も同様の手順で設定できます。使いやすいように表示する項目を選んで設定してください。

「Windows メール」でツールバーが消えてしまった

「表示」メニューの「レイアウト」から設定すると表示できます

1 「Windows メール」を起動後、メニューバーの「表示」をクリックし、「レイアウト」をクリックする。

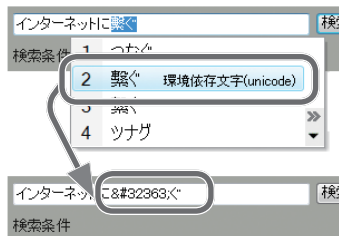
「ウィンドウのレイアウトのプロパティ」画面が表示されます。

2 「全般」欄の「ツールバー」をクリックしてチェックマークを付ける。

3 [OK] をクリックする。

「ウィンドウのレイアウトのプロパティ」画面が閉じます。
「Windows メール」のメニューバーの下にツールバーが表示されます。

インターネットに関するトラブル

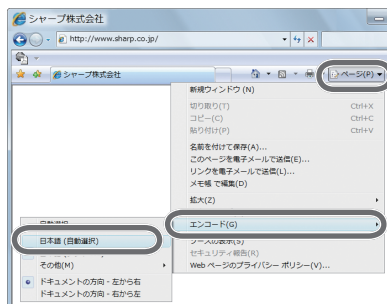
Q 変な文字が表示されたり、文字の向きがおかしい

A① ホームページ上で正しく表示されない文字があります

ホームページの検索入力欄などに文字を入力するときなどに、「環境依存文字（unicode)」を入力すると、文字が表示されずに正しい検索結果が得られない場合があります。

A② エンコード（表示文字コード）を変更してみてください

ホームページを閲覧しているときに、画像などが正しく表示されるのに文字化けが起こる場合には、表示文字コードの設定を変更すると正しく表示できることがあります。

1 文字化けが起こっているホームページで「Windows Internet Explorer」のツールバーの「ページ」をクリックし、「エンコード」－「日本語（自動選択）」をクリックする。

「エンコード」メニューの中には「日本語（自動選択）」と「自動選択」があります。「エンコード」を変更するときに、間違って「自動選択」を選ばないようにご注意ください。文字化けが起こる原因になります。

Q 最初に表示されるホームページがいつの間にか変わってしまった

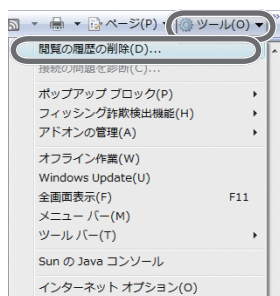
A① 最初に表示されるホームページを、表示したいページに変更してください

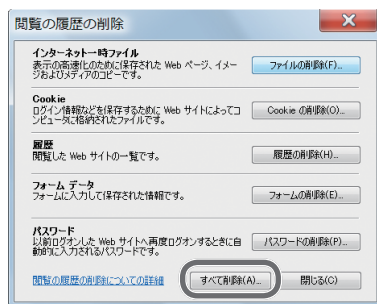
W-SIM のユーザー登録を解除してからオンラインサインアップをしたときに、自分で設定した「ホームページ」が変更されてしまいます。「**Windows Internet Explorer の起動時に表示されるホームページを変更する**」(☞37 ページ) を参照して、最初に表示される「ホームページ」を変更してください。

A② インターネットの閲覧の履歴を削除してください

いろいろな Web サイトを見ているうちに、この製品内に不要なファイルがたまってしまったり、ファイルを読み込んでしまったために設定が変わってしまうことがあります。その場合は以下の手順で閲覧の履歴を削除してください。

1 「Windows Internet Explorer」を起動後、「ツール」をクリックし、「閲覧の履歴の削除」をクリックする。

「閲覧の履歴の削除」画面が表示されます。

2 [すべて削除] をクリックする。

「Internet Explorerの閲覧の履歴を削除しますか？」と表示されます。

3 「アドオンによって格納されたファイルや設定を削除する」にチェックマークを付けて [はい] をクリックする。

アドオンによって格納されたファイルや設定を削除する」にチェックマークを付けると、インターネット閲覧時に「Windows Internet Explorer」に追加した機能(ツールバーやActiveXコントロールなどのブラウザを拡張するプログラムなど)も削除されます。

4 「Windows Internet Explorer」をいったん閉じ、再度起動して、登録した「ホームページ」が表示されるか確認する。

- ［すべて削除］をクリックすると、「閲覧の履歴の削除」画面に表示されているすべての項目が一括で削除されます。

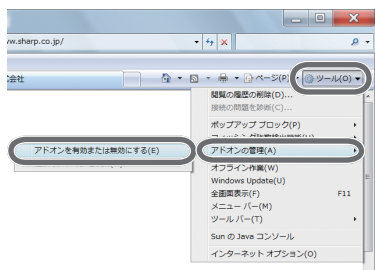
インターネット一時ファイル	：	一度閲覧したホームページに次回以降アクセスするときに短時間で表示できるように、パソコンに保存されているホームページの情報です。
Cookie	：	Web サイトの提供者によって、アクセスしたユーザーの Web ブラウザにアクセス情報（Web サイトにアクセスした日時やアクセス回数など）やアクセスパスワードなどを一時的に保存するしくみです。
履歴	：	Web サイトへのアクセスの履歴です。
フォームデータ	：	Web サイト上で入力した文字を次回同じ画面で入力せずに表示できるように保存されている情報です。
パスワード	：	Web サイト上で入力した「パスワード」を次回同じ画面が表示されたときに入力せずに表示できるように保存されている情報です。

これらの内容を削除することで、これまでに記憶したユーザー名などが削除されてしまうことがあります。その場合は再度入力してください。

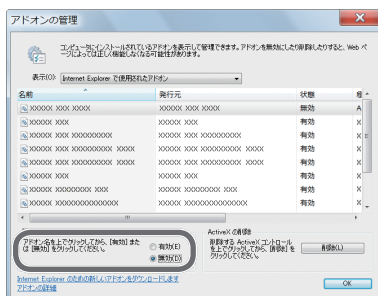
「アドオンの管理」でインストールした覚えのないプログラムがないか確認してください

海外の Web サイトを閲覧したときなどに、知らずに［Yes］［OK］をクリックしてしまったことで、ツールバーが入ってしまったり、設定が変わってしまうことがあります。「アドオンの管理」画面で、インストールされたアドオンを確認してください。

1 「Windows Internet Explorer」を起動後、「ツール」をクリックし、「アドオンの管理」－「アドオンを有効または無効にする」をクリックする。

「アドオンの管理」画面が表示されます。

2 「表示」欄の▼をクリックし、リストから「Internet Explorerで使用されたアドオン」または「現在 Internet Explorerで読み込まれているアドオン」をクリックする。

インストールされているプログラムが一覧に表示されます。

3 「アドオンの管理」画面に、発行元が不明なものや追加した覚えがないものなど、問題を引き起こしている可能性のあるプログラムがある場合は、そのプログラムをクリックして選択し、「設定」欄の「無効」をクリックしてプログラムを無効にする。

4 ［OK］をクリックする。

「アドオンの管理」画面が閉じます。

「変更を有効にするには、Internet Explorerを再実行する必要のある可能性があります」と表示された場合は、［OK］をクリックします。

5 「Windows Internet Explorer」をいったん閉じ、再度起動して、登録した「ホームページ」が表示されるか確認する。

ウイルスチェックをしてください

「Windows Internet Explorer」の設定を変えてしまうウイルスもあります。セキュリティ対策ソフトでウイルスチェックをしてください。

なお、セキュリティ対策ソフトでのウイルスチェックの方法は、ソフトのヘルプや、メーカーのホームページを参照してください。

システムの復元を実行してください

Windows では、プログラムをインストールするなど、システム設定が変更されるときに、インストールする前のシステムの状態を自動的にバックアップしておく機能があります。
周辺機器のドライバーやプログラムをインストールしてから、この製品の動作が不安定になったなどというときは、インストールした日付を復元ポイントとしてシステムの復元を実行すると、この製品が正常に動作していた頃の状態に戻すことができます。

ご注意！

- システムの復元を実行すると、指定した日付（復元ポイント）以降にインストールしたプログラムなどは使用できなくなります。使用するためには再度そのプログラムをインストールしてください。
- システムの復元をしても、「ドキュメント」フォルダに保存されているファイルや、ご自分で作成したデータファイルなどは削除されませんが、重要なデータはあらかじめバックアップを取っておいてください。
- 復元中はこの製品の操作をしたり、この製品の電源を切ったりしないでください。

1 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「システムの復元」の順にクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

2 ［続行］をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。

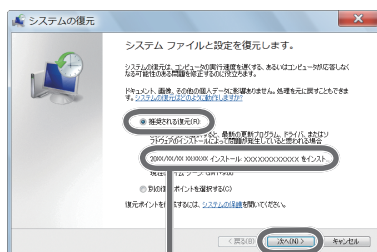
3 「推奨される復元」に表示されている復元ポイントを確認し、［次へ］をクリックする。

復元ポイントの確認画面が表示されます。

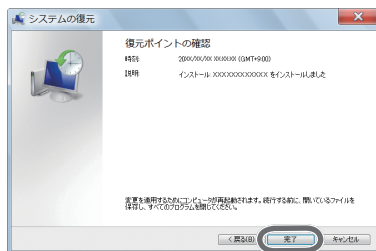
復元ポイントは、新しいプログラムや周辺機器用ドライバー・ユーティリティをインストールしたときなどに、自動的に作成されています。

問題が発生した日が明確で、表示されている復元ポイント以外を指定したいときは

① 「別の復元ポイントを選択する」をクリックし、［次へ］をクリックする。
「復元ポイントを選択してください。」と表示されます。

② 問題が発生した日より前の日時の復元ポイントをクリックし、［次へ］をクリックする。
「復元ポイントの確認」画面が表示されます。

復元ポイント

4 復元ポイントを確認して、［完了］をクリックする。

システムの復元を本当に開始してよいかの確認画面が表示されます。

5 ［はい］をクリックする。

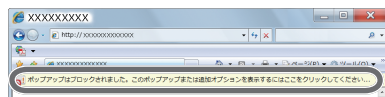
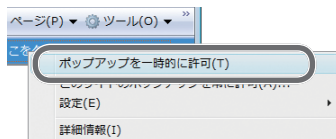
システムの復元が開始されます。
復元が完了すると、この製品が自動的に再起動して「システムの復元は正常に完了しました」と表示されます。

6 ［閉じる］をクリックする。

Q 「ポップアップはブロックされました。...」と表示された

A① 「Windows Internet Explorer」で、別ウィンドウで表示される広告などを表示しないよう制限する機能が働いていることを知らせるメッセージです

表示制限されているウィンドウやホームページは、ポップアップを許可すると表示させることができます。

1 表示されているメッセージをクリックする。

2 「ポップアップを一時的に許可」をクリックする。

ご参考

- 手順 **2** で、「このサイトのポップアップを常に許可」をクリックすると、許可されたサイトは、次回からブロックされることなく表示されます。

見たいホームページが正しく表示できない

ポップアップを許可すると表示させることができます

「Windows Internet Explorer」では、別ウィンドウで表示される広告などを表示しないよう制限する機能が設定されています。
表示制限されているウィンドウやホームページは、ポップアップを許可すると表示させることができます。
操作方法については、「**ポップアップはブロックされました。...」と表示された**」の A1（☞前ページ）を参照してください。

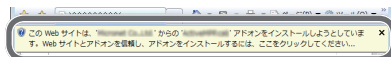
A② プログラムをインストールすると表示できるようになります

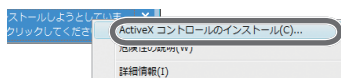
「Windows Internet Explorer」で、ホームページを表示するために必要なプログラムがないときに、追加のプログラムのインストールを促すメッセージが表示されることがあります。メッセージをクリックし、必要なプログラムをインストールすると、ホームページが表示されます。

ご注意！

- 表示しようとしているホームページやプログラムの安全性を確認したうえでインストールすることをお勧めします。

1 「Windows Internet Explorer」のページの画面上部に表示されているメッセージをクリックする。

表示されるメッセージは、必要なプログラムによって異なります。

2 「ActiveXコントロールのインストール」をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

3 ［続行］をクリックする。

「セキュリティの警告」画面が表示されます。
画面には、インストールするプログラムの名前や発行元が表示されています。

4 画面の内容を確認して、インストールしてもよければ［インストールする］をクリックする。

プログラムがインストールされ、ホームページが表示されます。

ワンセグに関するトラブル

Q チャンネルを設定できない

A① お使いの地域でワンセグ放送が受信できるかどうか確認してください

お使いの地域でワンセグ放送が受信できるかどうかは、社団法人デジタル放送推進協会のホームページでご確認ください。

（社）デジタル放送推進協会（Dpa）ホームページ

http://www.dpa.or.jp/

A② 受信状況の良い場所に移動してください

ワンセグ放送は、受信可能なエリア内であっても、地形や建物、壁などの遮へい物によって電波がさえぎられる場所や電波の弱い場所、トンネルや地下、建物の中など電波の届きにくい場所では、受信できないことがあります。

受信状況の良い場所へ移動するなどして、チャンネルを設定してください。

Q チャンネルが変えられない

A① 録画中はチャンネルを変えることができません

番組の録画中は、録画している番組のチャンネル以外は視聴できないため、チャンネルボタンは操作できません。また、チャンネルリストも録画中の番組の放送局名以外は、グレー表示に変わります。

A② 移動などでチャンネルの再設定が必要な場合があります

受信するワンセグの放送エリアから移動した場合は、受信できるチャンネルも変わることがあります。このようなときは再度チャンネルスキャンをして、チャンネルを設定してください。

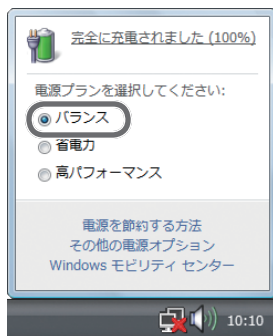
詳しくは、『**基本編**』（冊子）の「**6 章 ワンセグ**」－「**ワンセグを見る**」－「**チャンネルを設定する**」を参照してください。

ワンセグ放送がコマ落ちする

A① 電源設定が「省電力」になっていないか確認してください

「省電力」に設定されている場合は、「バランス」に変更して視聴してください。

1 タスクバーの をクリックする。

2 「省電力」が選択されている場合は「バランス」をクリックする。

A② 使用していないアプリケーションソフトは、こまめに終了させてください

視聴中に他のアプリケーションソフトを起動しているとコマ落ちの原因になります。

A③ 受信状況の良い場所に移動してください

ワンセグ放送は、受信可能なエリア内であっても、地形や建物、壁などの遮へい物によって電波がさえぎられる場所や電波の弱い場所、トンネルや地下、建物の中など電波の届きにくい場所では、受信できないことがあります。
受信状況の良い場所へ移動するなどして、ワンセグ放送を視聴してください。

A④ 電話中にはコマ落ちすることがあります

Q 録画予約したのに、正しく録画できていない

A① AC アダプターを接続してください

この製品をバッテリーでお使いの場合、バッテリー残量が不足すると録画が途中で止まってしまうため、正しく録画できません。録画や録画予約を設定したときは、AC アダプターを接続することをお勧めします。

A② 「StationMobile5」を完全に終了すると、予約録画は実行されません

「StationMobile5」画面上部の をクリックすると、画面は終了しても、「StationMobile5」はタスクトレイモード（タスクバーに が表示された状態）となり、タスクバーに格納されています。
タスクトレイモードのとき、タスクバーの を右クリックし「終了」をクリックすると、「StationMobile5」は完全に終了してしまうため、録画予約の設定は無効になり、録画は実行されません。

A③ 録画予約設定後は、ログオフしたり、シャットダウンでこの製品の電源を切らないでください

録画予約した番組が正しく録画されるためには、録画開始時にこの製品が起動し、予約設定したユーザーアカウントでこの製品にログオンしている必要があります。
また、録画中にログオフしたり、シャットダウンすると、録画は停止します。

ご参考

- 録画予約があると、この製品がスリープや休止状態に移行していても、録画開始 5 分前に自動的に復帰して録画が開始されます。
  録画開始までの時間が 5 分以内のときに、この製品をスリープや休止状態にすると、正しく録画できない場合があります。また、録画中に休止状態にすると、録画は停止します。

A④ Windows Update の自動再起動によって録画が中断した可能性があります

Windows Update の設定によって、自動的にこの製品が再起動する場合があります。録画中にこの製品が再起動すると、録画は停止します。

A⑤ ワンセグ放送の受信状況が悪いと正しく録画できません

ワンセグ放送の受信状況が悪い場所で予約録画が実行された場合は、正しく録画できないことがあります。

セキュリティに関するトラブル

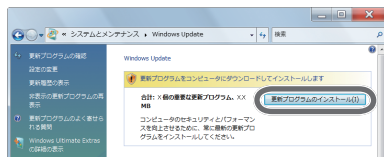
Q タスクバーに「新しい更新プログラムを利用できます」と表示された

A① Windows の重要な更新プログラムがダウンロードされると、このメッセージが表示されます

1 表示されているメッセージまたはタスクバーの をクリックする。

「Windows Update」画面が表示されます。

2 [更新プログラムのインストール] をクリックする。

使用許諾契約書が表示された場合は、内容をよく読み、「同意します」をクリックし、[完了] をクリックします。
また、「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行] をクリックします。
インストールが開始されます。
インストールが完了すると「新しい更新プログラムがインストールされました」と表示されます。
更新プログラムのインストールを完了するために再起動するようにという画面が表示された場合は、この製品を再起動すると更新が完了します。

周辺機器に関するトラブル

Q microSD カードにデータを書き込めない

A① microSD カードが認識されているか確認してください

1 （スタート）をクリックし、「コンピュータ」をクリックする。

「コンピュータ」画面が表示されます。

2 「リムーバブル記憶領域があるデバイス」にmicroSDカードのアイコン が表示されているか確認する。

アイコンが表示されていないときは、microSDカードは認識されていません。いったんカードをこの製品から取り出し、再度microSDカードスロットに差し込んでください。

ご参考

- この製品で使用できる microSD カードの種類や microSD カードスロットの位置、microSD カードの差し込み方法などについては、『**基本編**』（冊子）の「**1 章 基本操作**」－「**基本的な使いかた**」を参照してください。

A② microSD カードが使用禁止になっていないか確認してください

「電話設定」の「リモートロック」画面で「microSD カードの読み書きを禁止します」にチェックマークが付いていると、microSD カードは使えません。次の手順で設定を解除してください。

1 「D4 Status Monitor」の［設定］をクリックする。

「電話設定」画面が表示されます。

2 「セキュリティ」タブをクリックし、［リモートロック］をクリックする。

3 表示された画面でW-SIM の暗証番号を入力する。

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字0（ゼロ）が4つ）です。
入力した暗証番号が正しいと、「リモートロック」画面が表示されます。

4 「microSDカードの読み書きを禁止します」をクリックしてチェックマークを外し、［OK］をクリックする。

5 この製品を再起動する。
再起動後、microSDカードの読み書きができるようになります。

空き容量が十分にある microSD カードをお使いください

microSD カードの空き容量が少ないと、データを書き込むことはできません。不要なファイルやフォルダを削除するなどして、microSD カードの空き容量を増やしてください。ファイルやフォルダを削除するには、次の手順で操作してください。

ご注意！

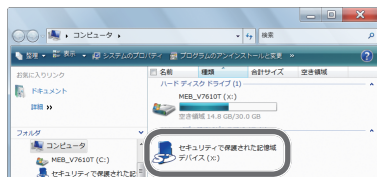
- 一度削除されたファイルやフォルダは元に戻すことはできません。保存されているデータを、あらかじめ確認してから削除してください。

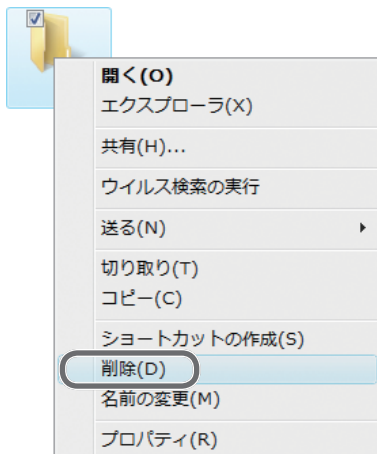
1 （スタート）をクリックし、「コンピュータ」をクリックする。

「コンピュータ」画面が表示されます。

2 「リムーバブル記憶領域があるデバイス」のmicroSDカードのアイコンをダブルクリックする。

（お使いの機種やmicroSDカードの種類により、microSDカードのアイコンや名称が異なる場合があります。）

microSDカードの内容が表示されます。

3 不要なファイルやフォルダを右クリックし、「削除」をクリックする。

「ファイル（またはフォルダ）の削除」画面が表示されます。

4 ［はい］をクリックする。

この製品で使用可能な microSD カードか確認してください

使用可能な microSD カードについては、『**基本編**』（冊子）の「**10 章 付録**」－「**仕様一覧**」を参照してください。

Q タスクバーに「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンが表示されない

A① タスクバーにアイコンが隠れていないか確認してください

タスクバーに表示されるアイコンが多くなったり、通知領域にあるアイコンをしばらくクリックしていないと、タスクバーの通知領域内にアイコンが隠れることがあります。そのときはタスクバーの をクリックすると隠れているアイコンが表示されます。

Q Bluetooth でデータの送受信や周辺機器の接続ができない

A① お使いの周辺機器が Bluetooth に対応しているか確認してください

Bluetooth を利用してワイヤレスで接続するには、相手機器も Bluetooth 対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。

A② Bluetooth 機能が有効（オン）になっているか確認してください

「**Bluetooth を有効にする**」（☞53 ページ）を参照し、Bluetooth 機能が有効（オン）になっているか確認してください。また、周辺機器側の Bluetooth 機能が有効（オン）になっているかも確認してください。

A③ 機器同士を近づけて、通信距離を短くしてください

相手機器とは、見通し距離 10m 以内で接続してください。ただし、壁・障害物があるときや相手機器の電波状況によっては、この距離が短くなります。また、壁が鉄筋コンクリートの場合は、接続できないことがあります。できるだけ近くで接続してください。

A④ 近くに通信障害となる機器がないか確認してください

他の機器（電気製品、AV 機器、OA 機器、ファックス、デジタルコードレス電話機など）から 2m 以上、電子レンジ使用時は電子レンジから 3m 以上離れて接続してください。他の機器の電源が入っているときにこの製品をその機器の近くで操作すると、正常に接続できなかったり、この製品がテレビ、ラジオの受信障害や雑音の原因になることがあります。

A⑤ 接続する相手機器によっては、正しく接続できない場合があります

接続する機器の特性や仕様によっては、接続できない、接続が途切れる、データのやりとりができない、通信速度／通信距離が低下する、などの現象が発生することがあります。この製品の Bluetooth はすべての Bluetooth 機器との接続を保証するものではありませんのでご了承ください。

Q 周辺機器が動作しない

A① この製品のコネクターに正しく接続されているか確認してください

周辺機器や周辺機器の接続ケーブルがこの製品のコネクターから外れていないか、コネクターにきちんと差し込まれているか確認してください。
コネクターの位置は、『**基本編**』（冊子）の「**1 章 基本操作**」－「**基本的な使いかた**」を参照してください。

A② 周辺機器や周辺機器の接続ケーブルを再度接続してください

周辺機器や周辺機器の接続ケーブルをこの製品のコネクターから一度抜き、再度接続してください。

A③ この製品を再起動してください

再起動すると動作が改善される場合もあります。

A④ 周辺機器のドライバーソフトをインストールしてください

接続する周辺機器によっては、ドライバーソフトをインストールする必要があります。詳しくは、周辺機器の説明書を参照するか、または周辺機器メーカーに直接お問い合わせください。

A⑤ 周辺機器が Windows Vista に対応しているか確認してください

この製品には、Windows Vista が搭載されています。
周辺機器メーカーのホームページなどで、これまでお使いの周辺機器が Windows Vista でも使えるかどうか、また Windows Vista で使用できるようにするための更新ドライバーが提供されていないか確認してください。

A⑥ この製品で使えない製品の可能性があります

この製品では使用できない製品の可能性があります。この製品で使用可能かどうかは、周辺機器メーカーへお問い合わせください。
また、下記のサポートページもご確認ください。
D4 サポートページ
http://d4support.sharp.co.jp/

Q 外部ディスプレイに表示されない

A① ケーブル類の接続を確認してください

別売の RGB/USB ケーブル（CE-UD01）とこの製品、RGB/USB ケーブルと外部ディスプレイが正しく接続されているか確認してください。

A② 表示先の設定を確認してください

【Fn】＋【G】（ ）キーを数回押し、表示先が内蔵ディスプレイになっていないか確認してください。

A③ 「周辺機器が動作しない」（☞ 前ページ）の A1 ～ A6 を参照してください

A④ 外部ディスプレイの表示に合わせて、設定を変更してください

ディスプレイのプロパティ画面で、お使いの外部ディスプレイに適した値を設定してください。

ディスプレイのプロパティ画面を表示するには、タスクトレイの を右クリックし、表示されたメニューから「グラフィックプロパティ」をクリックします。

Q ヘッドセットから音が聞こえない

A① 「周辺機器が動作しない」（☞ 前ページ）の A1 ～ A6 を参照してください

A② 電話中は、ワンセグ放送の音声が出ません

ヘッドセットのマイクが使えない

A① 録音デバイスの設定を確認してください

Windows のアプリケーションソフトなどでマイクを使う場合は、以下の手順で録音デバイスの設定を確認してください。

1. （スタート）をクリックし、「コントロールパネル」をクリックする。
2. 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「オーディオデバイスの管理」をクリックする。
   「サウンド」画面が表示されます。
3. 「録音」タブをクリックする。
4. お使いのマイクに合わせて「マイク」または「補助入力」をクリックし、［規定値に設定］をクリックする。
   付属のヘッドセットの場合　：「マイク」
   Bluetooth対応ヘッドセット：「補助入力」
   （市販）の場合
5. ［OK］をクリックする。

A② 「周辺機器が動作しない」（☞100 ページ）の A1 ～ A6 を参照してください

カメラに関するトラブル

Q 消音設定にしてもシャッター音が鳴る

A① シャッター音を消すことはできません

スピーカーの音量をミュートにしていても、撮影時のシャッター音は鳴ります。

Q ピントが合わない

A① 内蔵カメラのレンズが汚れていないか確認してください

レンズに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。柔らかい布などでレンズをきれいにしてください。

A② 被写体との距離を離してください

被写体に近づきすぎると、ピントが合わずに画像がぼやけることがあります。被写体から十分な距離を取って撮影してください。

A③ 周囲を明るくしてください

撮影場所が暗いと、ピントが合いにくくなります。明るい場所に移動するなどして撮影してください。

その他のトラブル

Q 名刺が読み取れない

名刺を読み取るときは、必ず撮影モードを名刺リーダモードにしてください

名刺リーダモードにしないと名刺を読み取れません。

次のような場合には認識ができない、または認識精度が低くなることがあります

認識できない名刺

・黒地に白文字や濃い色の背景に薄い色の名刺
・手書きや手書き風のフォントを使った名刺
・背景に模様が付いている名刺
・縦書きと横書きが混在している名刺

認識精度の低い名刺

・文字の色が薄くコントラストが低い名刺
・非常に小さい文字や斜体の文字がある名刺
・社名などがロゴやロゴ風フォントを使った名刺
・表面に光沢のある名刺
・汚れたり折れたりしている名刺
・縦置きの名刺

Q スタイラスペンでクリックした位置が画面の位置とずれている

A① タッチスクリーンの補正をしてください

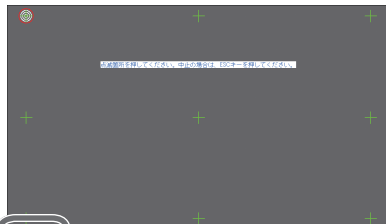
1 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「タッチスクリーンの補正」の順にクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

2 ［許可］をクリックする。

これ以降はタッチペンで操作します。

3 画面の赤色丸印の中心を少し長くタップする。

赤色丸印が移動するので、以降同じ操作を繰り返します。（9回）
タップが終わると元の画面に戻ります。

右端まで届くと、補正画面が中断されます。

ご参考

- 画面下の青色のゲージが右端まで届くと、補正画面が中断され、元の画面に戻ってしまいます。青いゲージが右端に届くまでに補正の操作を完了してください。

A② タッチパッドに触れないようにしてください

タッチパッドに指や手が触れていると、スタイラスペンでタップしたときに位置がずれることがあります。

A③ セーフモードでは、タッチスクリーンの調整機能が無効になっています。そのため、タップの位置が画面の位置とずれますので、セーフモードでの操作はタッチパッドとクリックボタンで行ってください（☞『基本編』（冊子）の「1 章 基本操作」－「基本的な使いかた」）

さくいん

■ 記号・アルファベット

■ ア行

■ カ行

■ サ行

■ タ行

■ ナ行

■ ハ行

■ マ行

■ ヤ行

■ ラ行

■ ワ

ウィルコムの電話・サービスに関する
お問い合わせはウィルコムサービスセンターへ

ご利用のお申し込み・お問い合わせ（無料）

ウィルコムの電話から ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（局番なしの） **116**

一般加入電話・携帯電話などから ・・・・・・・・・・・ **0120-921-156**

受付時間 ／ 9:00〜19:00（日・祝日を除く）

データ通信に関するお問い合わせ（無料）

ウィルコムの電話から ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（局番なしの） **157**

一般加入電話・携帯電話などから ・・・・・・・・・・・ **0120-921-157**

受付時間 ／ 9:00〜19:00（日・祝日も受付）

ホームページもご覧ください

http://www.willcom-inc.com/

シャープ株式会社

本　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地